



# 学生調査

2018年3月卒業予定者の  
就職活動に関する

Pick Up

8/1時点で  
内定獲得率 **83.1%**  
「就活終了」は **68.8%**

2017年  
8月1日  
状況

内定者フォローを“受けている”学生は  
90.3%で前年5ポイント増

**アイデム 人と仕事研究所**

WEBサイトでは、採用活動のヒントとなる情報を発信しています。

 「就職活動に関する学生調査」  「新卒採用に関する企業調査」

学生と企業の「今」がわかります

人と仕事  <https://apj.aidem.co.jp/>

お問い合わせ

▶ 広報担当／望月・栗木 ▶ 調査担当／岸川・古橋

☎ 03-5269-8780 ✉ [kouhousitu@aidem.co.jp](mailto:kouhousitu@aidem.co.jp)

# 結 果 概 要

## 2018 就職活動に関する学生調査 (2017年8月1日状況)

### 進捗状況

#### ▶現在のステータス

##### 【主な活動】

「面接・試験段階」…………… 10.4% (前年比-2.3ポイント)  
「内定獲得／就活継続段階」… 13.0% (前年比-0.7ポイント)  
「内定獲得／就活終了段階」… 68.8% (前年比+3.1ポイント)

##### 【各活動ステータスに到達した学生の割合】

「面接・試験段階」…………… 93.3% (前年比 ±0ポイント)  
「内定獲得段階 (内定獲得率)」83.1% (前年比+2.8ポイント)

#### ▶内定獲得状況

内定獲得社数 平均2.2社 (前年-0.1社)

#### ▶会社説明会参加回数

平均24.4回 (前回±0回 前年-2.1回)

#### ▶エントリーシート・履歴書提出企業数

平均17.0社 (前回+0.8社 前年-0.7社)

#### ▶応募企業数

平均24.1社 (前回+1.4社 前年-2.2社)

#### ▶学校推薦での応募状況

学校推薦で応募した企業がある …………… 9.8%  
・内定獲得 6.2% ・不採用 3.6%

#### ▶面接選考企業数

平均12.2社 (前回+0.9社 前年-0.1社)

#### ▶1日の活動時間

「就職活動に費やす時間」平均1.0時間  
(前回-0.9時間 前年-0.1時間)  
「学業に費やす時間」平均3.4時間  
(前回-0.1時間 前年-0.3時間)

### 受験企業の状況

#### ▶新たに企業に応募する予定

「ある」…………… 64.5%  
興味なし【業界】にも応募 …………… 63.3%  
興味なし【職種】にも応募 …………… 60.8%

### 入社予定企業・内定企業の状況

#### ▶入社予定企業の従業員規模

「299人以下」…………… 27.7% 「300～999人」… 23.4%  
「1,000～2,999人」17.0% 「3,000人以上」… 27.1%

#### ▶“後付け推薦”

求められたことが「ある」…………… 9.9%  
理系、大企業入社予定者では2割に

#### ▶内定者フォロー

内定企業から内定者フォローがあった(ある予定) …… 90.3%  
1位「内定者や社員との懇親会」…………… 61.5%  
2位「メールでの定期連絡」…………… 32.3%  
3位「内定式」…………… 21.3%

##### 【頻度】

「月に1回程度」…………… 42.2%  
2週間～月1回程度が「ちょうど良い」。週1回以上だと「多い」

##### 【行なってくれると嬉しい内定者フォロー】

1位「内定者や社員との懇親会」…………… 69.6%  
2位「内定式」…………… 64.4%  
3位「社内見学会」…………… 60.6%

#### ▶入社前研修

「受けたい」…………… 87.1%  
1位「ビジネスマナー」…………… 65.8%  
2位「配属先で必要な知識・技術」…………… 60.8%  
3位「論理的思考・コミュニケーション等のビジネススキル」  
…………… 56.0%

### 学生の意識

#### ▶労働関連ワードの理解度

意味・しくみをきちんと理解している学生の割合

1位「育児休業」…………… 73.3%  
2位「『週休2日制』と『完全週休2日制』の違い」…………… 67.5%  
3位「ジョブローテーション」…………… 66.3%  
最下位は「確定拠出年金」…………… 17.4%

#### ▶就職活動解禁日の必要性

##### 【適切だと思う就活開始時期】

1位「卒業前年次の1月～3月」…………… 28.4%  
2位「卒業前年次になる前」…………… 18.9%  
3位「卒業前年次の10月～12月」…………… 13.7%

##### 【解禁日は必要か】

必要だと思う(どちらかと言えば含む)…………… 53.3%

# I N D E X

---

|                                               |      |
|-----------------------------------------------|------|
| ● 調査概要 .....                                  | p. 4 |
| 1 就職活動の進捗状況 .....                             | p. 6 |
| 2 内定獲得状況 .....                                | p. 8 |
| 3 入社予定企業の従業員規模 .....                          | p. 9 |
| 4 1日の活動時間 .....                               | p.10 |
| 5 会社説明会参加回数 .....                             | p.11 |
| 6 応募企業数 .....                                 | p.12 |
| 7 学校推薦での応募状況 .....                            | p.13 |
| 8 エントリーシート・履歴書提出企業数 .....                     | p.14 |
| 9 面接選考企業数 .....                               | p.15 |
| 10 現在選考中の企業数 .....                            | p.16 |
| 11 企業への新たな応募予定（8月） .....                      | p.17 |
| 12 “後付け推薦”を求められたことがあるか .....                  | p.18 |
| 13 企業から受けた内定者フォロー .....                       | p.19 |
| 14 内定者フォローの頻度 .....                           | p.20 |
| 15 行なってくれると嬉しい内定者フォロー・<br>面倒に感じる内定者フォロー ..... | p.21 |
| 16 入社前に受けた研修 .....                            | p.23 |
| 17 労働関連ワードの理解 .....                           | p.24 |
| 18 就職活動“解禁日”の必要性 .....                        | p.26 |

# 調査概要

## 調査目的

2017年8月1日時点における就職活動の準備・進捗状況等から、就職活動を行なう学生の実態を明らかにすること

## 調査対象

2018年3月卒業予定で、一般企業への就職を希望している大学4年生・大学院2年生の男女

## 調査方法

インターネット調査

## 調査期間

2017年8月1日～4日

## 有効回答

644名

「JOBASS 新卒」登録学生（324名）、株式会社クロス・マーケティングのアンケートモニター（320名）

※本調査は回答割合の表示において小数点以下第2位を四捨五入しているため、結果が100.0%にならない場合があります。

※「平均回答個数」とは、複数回答形式の設問において各回答者が回答した選択肢の個数の平均を示しています。

※本調査で言う「内定」には、「内々定」も含まれます。

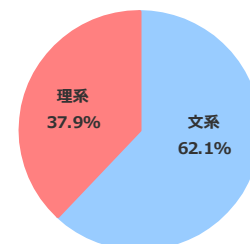
| 居住地域     | 回答数 | (%)   |
|----------|-----|-------|
| 北海道・東北地方 | 33  | 5.1   |
| 関東地方     | 267 | 41.5  |
| 北陸・甲信越地方 | 21  | 3.3   |
| 東海地方     | 36  | 5.6   |
| 近畿地方     | 233 | 36.2  |
| 中国地方     | 15  | 2.3   |
| 四国地方     | 9   | 1.4   |
| 九州地方     | 30  | 4.7   |
| 合 計      | 644 | 100.0 |

| 専 攻 | 回答数 | (%)   |
|-----|-----|-------|
| 文系  | 458 | 71.1  |
| 理系  | 186 | 28.9  |
| 合 計 | 644 | 100.0 |

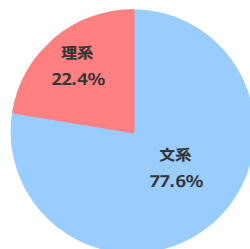
| 所属サークル | 回答数 | (%)   |
|--------|-----|-------|
| 文化系    | 209 | 32.5  |
| 体育会系   | 130 | 20.2  |
| イベント系  | 58  | 9.0   |
| 無所属    | 247 | 38.4  |
| 合 計    | 644 | 100.0 |

| 性 別 | 回答数 | (%)   |
|-----|-----|-------|
| 男性  | 269 | 41.8  |
| 女性  | 375 | 58.2  |
| 合 計 | 644 | 100.0 |

男性



女性



## 学生の志向

### ＜企業規模に対する志向＞

|            |              | 大企業  | どちらかと言えば | どちらかと言えば | 中小企業 | 意識していない全く | 大企業志向 | 中小企業志向 |
|------------|--------------|------|----------|----------|------|-----------|-------|--------|
|            |              | (%)  | (%)      | (%)      | (%)  | (%)       | (%)   | (%)    |
| 全体 (n=644) |              | 20.0 | 29.7     | 19.7     | 8.5  | 22.0      | 49.7  | 28.3   |
| 男女別        | 男性 (n=269)   | 25.3 | 26.8     | 15.6     | 7.1  | 25.3      | 52.0  | 22.7   |
|            | 女性 (n=375)   | 16.3 | 31.7     | 22.7     | 9.6  | 19.7      | 48.0  | 32.3   |
| 文理別        | 文系 (n=458)   | 19.7 | 29.9     | 18.1     | 9.4  | 22.9      | 49.6  | 27.5   |
|            | 理系 (n=186)   | 21.0 | 29.0     | 23.7     | 6.5  | 19.9      | 50.0  | 30.1   |
| 状況獲得別      | 内定あり (n=535) | 22.6 | 31.8     | 18.1     | 8.2  | 19.3      | 54.4  | 26.4   |
|            | 内定なし (n=109) | 7.3  | 19.3     | 27.5     | 10.1 | 35.8      | 26.6  | 37.6   |

### ＜自分のタイプⅠ：周りからの評価＞

A.周りからの評価は高い方だ  
B.周りからの評価は低い方だ

|            |                         | Aに近い | A言どちらか | B言どちらか | Bに近い | 評価が高い | 評価が低い |
|------------|-------------------------|------|--------|--------|------|-------|-------|
|            |                         | (%)  | (%)    | (%)    | (%)  | (%)   | (%)   |
| 全体 (n=644) |                         | 21.9 | 54.8   | 18.8   | 4.5  | 76.7  | 23.3  |
| 男女別        | 男性 (n=269)              | 25.3 | 48.3   | 21.9   | 4.5  | 73.6  | 26.4  |
|            | 女性 (n=375)              | 19.5 | 59.5   | 16.5   | 4.5  | 78.9  | 21.1  |
| 文理別        | 文系 (n=458)              | 22.9 | 55.7   | 17.2   | 4.1  | 78.6  | 21.4  |
|            | 理系 (n=186)              | 19.4 | 52.7   | 22.6   | 5.4  | 72.0  | 28.0  |
| 企業志向別      | 大企業志向 (n=320)           | 25.9 | 57.2   | 14.4   | 2.5  | 83.1  | 16.9  |
|            | 中小企業志向 (n=182)          | 18.1 | 54.4   | 23.6   | 3.8  | 72.5  | 27.5  |
|            | 企業の規模は全く意識していない (n=142) | 17.6 | 50.0   | 22.5   | 9.9  | 67.6  | 32.4  |
| 状況獲得別      | 内定あり (n=535)            | 22.8 | 57.4   | 16.8   | 3.0  | 80.2  | 19.8  |
|            | 内定なし (n=109)            | 17.4 | 42.2   | 28.4   | 11.9 | 59.6  | 40.4  |

### ＜自分のタイプⅡ：就活取組姿勢＞

A.積極的に就職活動をしている  
B.あまり積極的に就職活動をしていない

|            |                         | Aに近い | えどAにか近い | えどBにか近い | Bに近い | 積極的  | 消極的  |
|------------|-------------------------|------|---------|---------|------|------|------|
|            |                         | (%)  | (%)     | (%)     | (%)  | (%)  | (%)  |
| 全体 (n=644) |                         | 24.5 | 35.4    | 26.9    | 13.2 | 59.9 | 40.1 |
| 男女別        | 男性 (n=269)              | 23.4 | 33.8    | 30.9    | 11.9 | 57.2 | 42.8 |
|            | 女性 (n=375)              | 25.3 | 36.5    | 24.0    | 14.1 | 61.9 | 38.1 |
| 文理別        | 文系 (n=458)              | 28.2 | 33.0    | 24.9    | 14.0 | 61.1 | 38.9 |
|            | 理系 (n=186)              | 15.6 | 41.4    | 31.7    | 11.3 | 57.0 | 43.0 |
| 企業志向別      | 大企業志向 (n=320)           | 29.1 | 36.9    | 24.7    | 9.4  | 65.9 | 34.1 |
|            | 中小企業志向 (n=182)          | 20.9 | 36.8    | 29.7    | 12.6 | 57.7 | 42.3 |
|            | 企業の規模は全く意識していない (n=142) | 19.0 | 30.3    | 28.2    | 22.5 | 49.3 | 50.7 |
| 状況獲得別      | 内定あり (n=535)            | 27.3 | 37.2    | 26.4    | 9.2  | 64.5 | 35.5 |
|            | 内定なし (n=109)            | 11.0 | 26.6    | 29.4    | 33.0 | 37.6 | 62.4 |

# 就職活動の進捗状況

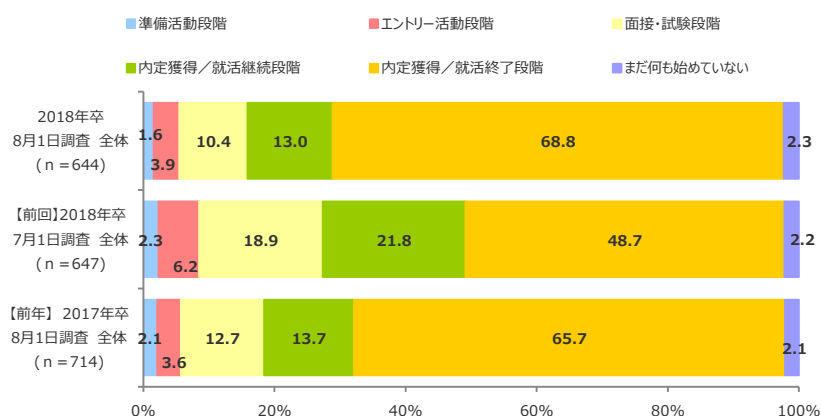
学生に、2017年8月1日時点の就職活動の＜主な活動＞について聞くと、「内定獲得／就活終了段階」と回答した学生が最も多く68.8%に上った。前回調査（「2018年3月卒業予定者の就職活動に関する学生調査 2017年7月1日状況」、以下同）から20.1ポイントの大幅増となり、この1ヵ月で一気に就職活動を終える学生が増えたようだ。前年調査（「2017年3月卒業予定者の就職活動に関する学生調査 2016年8月1日状況」、以下同）からは3.1ポイントの増加となった（図1.1）。

また、＜主な活動＞と＜最も選考が進んでいる企業の状況（※）＞を合わせて、実際にどのくらいの学生が就職活動の各活動ステータスに到達しているかを見た。「準備活動段階」は、調査対象の全学生のうち97.7%、「エントリー活動段階」96.3%、「面接・試験段階」93.3%、「内定獲得段階（“内定獲得／就活継続段階”と“内定獲得／就活終了段階”の計。“内定獲得率”と同義）」83.1%となっている（図1.2）。

各活動ステータスに到達した学生の割合を属性別に見ると、企業規模に対する志向別で「大企業志向」の学生は、「面接・試験段階」「内定獲得段階」への到達率が高く、進捗が早いようだ（表1）。

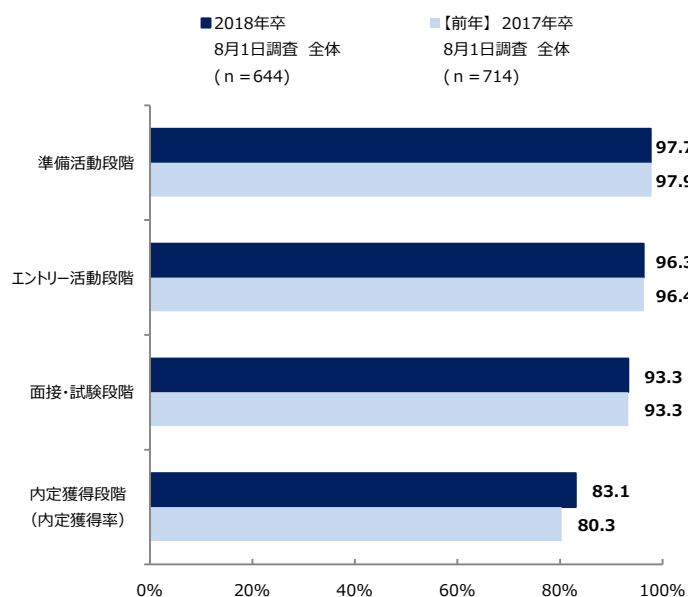
※ 最も選考が進んでいる企業の状況：＜主な活動＞において、「内定獲得／就活終了段階」または「まだ何も始めていない」以外を回答した学生（n=102）に聴取。「準備活動段階」8.8%、「エントリー活動段階」18.6%、「面接・試験段階」64.7%、「内定獲得／就活継続段階」7.8%となっている。

【図1.1】現在の就職活動のステータス＜主な活動＞：前年調査との比較



- ◆準備活動段階  
就職活動の情報収集や就活ナビサイトへの登録、自己分析や業界研究など企業にエントリーする前の準備をし始めた段階
- ◆エントリー活動段階  
説明会やエントリーシートの作成・提出など、企業にエントリー・応募し始めた段階
- ◆面接・試験段階  
面接や試験など、主に企業の選考を受けている段階
- ◆内定獲得／就活継続段階  
1社以上の内定を獲得したが、就活を継続している段階
- ◆内定獲得／就活終了段階  
1社以上の内定を獲得し、就活を終了した段階

【図1.2】各活動のステータスに到達した学生の割合：前年調査との比較

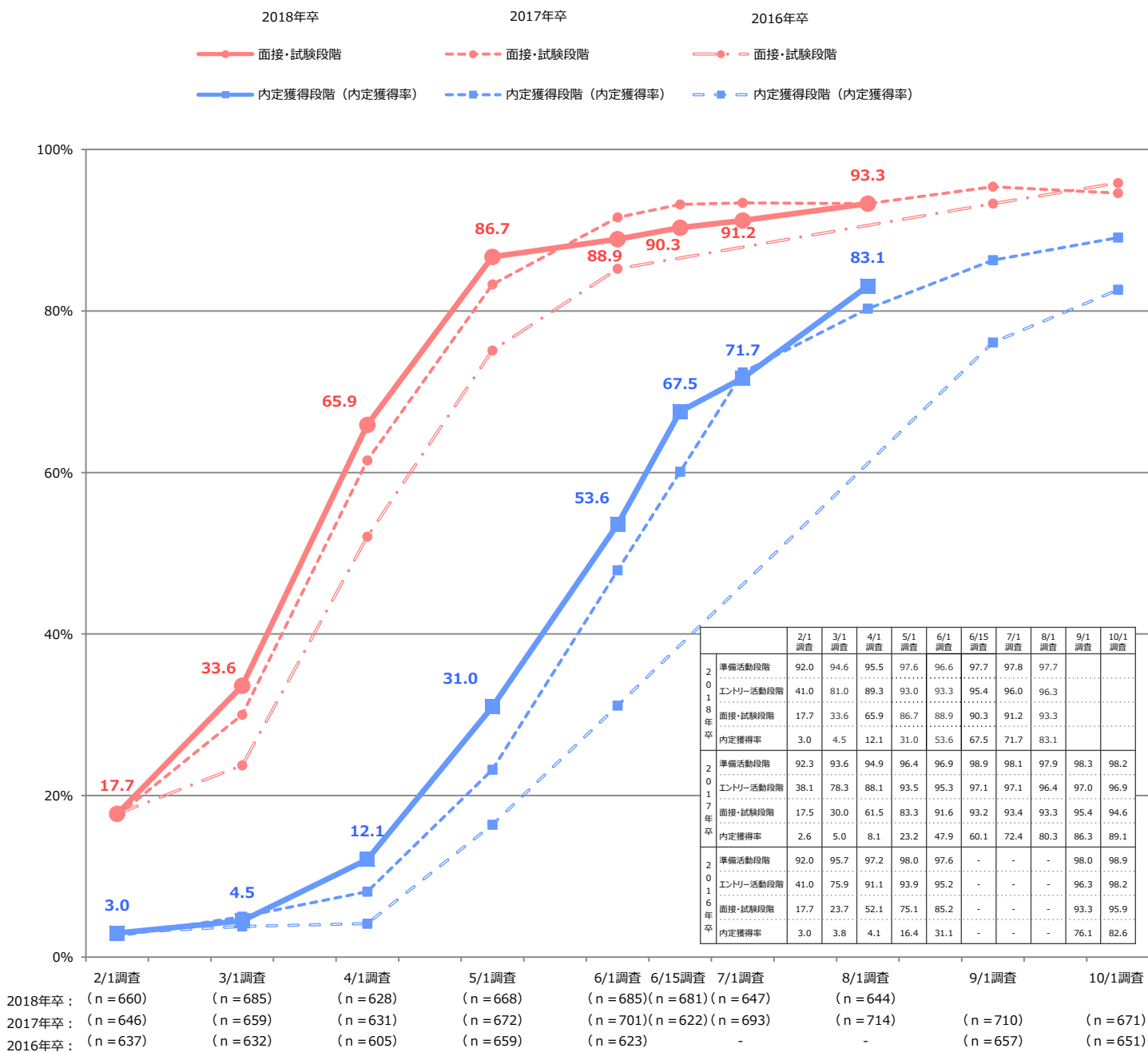


【表1】各活動のステータスに到達した学生の割合：属性別

|                              |                         | 準備活動段階 | エントリー活動段階 | 面接・試験段階 | 内定獲得段階 (内定獲得率) |
|------------------------------|-------------------------|--------|-----------|---------|----------------|
|                              |                         | (%)    | (%)       | (%)     | (%)            |
| 2018年卒 8月1日調査 全体 (n=644)     |                         | 97.7   | 96.3      | 93.3    | 83.1           |
| 【前年】2017年卒 8月1日調査 全体 (n=714) |                         | 97.9   | 96.4      | 93.3    | 80.3           |
| 男女別                          | 男性 (n=269)              | 97.0   | 95.2      | 92.6    | 82.2           |
|                              | 女性 (n=375)              | 98.1   | 97.1      | 93.9    | 83.7           |
| 文理別                          | 文系 (n=458)              | 97.6   | 96.1      | 93.9    | 82.3           |
|                              | 理系 (n=186)              | 97.8   | 96.8      | 91.9    | 84.9           |
| 企業志向・規模別                     | 大企業志向 (n=320)           | 99.1   | 98.8      | 97.8    | 90.9           |
|                              | 中小企業志向 (n=182)          | 96.7   | 94.5      | 90.1    | 77.5           |
|                              | 企業の規模は全く意識していない (n=142) | 95.8   | 93.0      | 87.3    | 72.5           |
| 姿勢・就活別                       | 積極的 (n=386)             | 99.2   | 98.4      | 97.7    | 89.4           |
|                              | 消極的 (n=258)             | 95.3   | 93.0      | 86.8    | 73.6           |

「面接・試験段階」と「内定獲得段階」に到達した学生の割合を、時系列で過去の調査と比較した。「面接・試験段階」到達者の割合は、6月1日以降落ち着き始め、今月も微増に留まっている。「内定獲得段階」到達者の割合は、7月1日調査では一旦伸びが緩やかになったが、8月1日には再び上昇し、前年超えの数値となった（図1.3）。

【図1.3】 各活動ステータスに到達した学生の割合：時系列、前年調査、前々年調査との比較



# 内定獲得状況

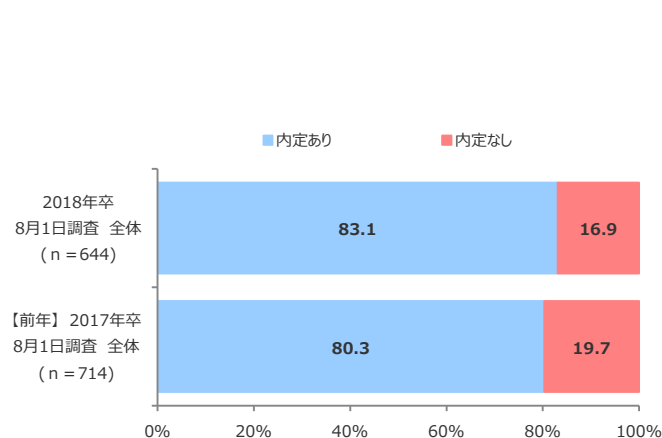
学生の内定獲得状況を見ると、8月1日時点では、「内定あり」83.1%、「内定なし」16.9%となった。「内定あり」の学生の割合は前年から2.8ポイントの増加となっている（図2.1）。

属性別に見ると、「内定あり」の学生の割合は、男女で大きな差はない。企業規模に対する志向別で見ると、「大企業志向」の学生で「内定あり」の割合が高くなっていた（表2.1）。

内定獲得社数を見ると、平均2.2社となった。就活取組姿勢別に見ると、「積極的」な学生と「消極的」な学生で平均0.5社の差が生じている（表2.2）。

内定獲得者のうち、内定獲得社数が「2社」以上だった学生の割合を複数内定獲得率（以下同）として集計すると、60.7%となった（図2.2）。

【図2.1】内定獲得状況：前年調査との比較



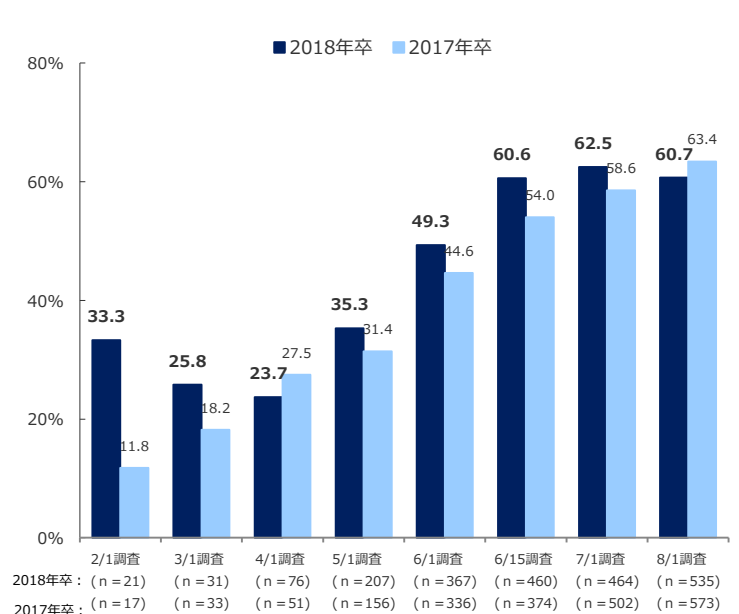
【表2.1】内定獲得状況：属性別

|                              |                         | 内定あり (%) | 内定なし (%) |
|------------------------------|-------------------------|----------|----------|
| 2018年卒 8月1日調査 全体 (n=644)     |                         | 83.1     | 16.9     |
| 【前年】2017年卒 8月1日調査 全体 (n=714) |                         | 80.3     | 19.7     |
| 男女別                          | 男性 (n=269)              | 82.2     | 17.8     |
|                              | 女性 (n=375)              | 83.7     | 16.3     |
| 文理別                          | 文系 (n=458)              | 82.3     | 17.7     |
|                              | 理系 (n=186)              | 84.9     | 15.1     |
| 企業志向別                        | 大企業志向 (n=320)           | 90.9     | 9.1      |
|                              | 中小企業志向 (n=182)          | 77.5     | 22.5     |
|                              | 企業の規模は全く意識していない (n=142) | 72.5     | 27.5     |
| 就活取組姿勢別                      | 積極的 (n=386)             | 89.4     | 10.6     |
|                              | 消極的 (n=258)             | 73.6     | 26.4     |

【表2.2】内定獲得社数：属性別

|                              |                         | 1社 (%) | 2社 (%) | 3社以上 (%) | 平均 (社) |
|------------------------------|-------------------------|--------|--------|----------|--------|
| 2018年卒 8月1日調査 全体 (n=535)     |                         | 39.3   | 25.6   | 35.1     | 2.2    |
| 【前年】2017年卒 8月1日調査 全体 (n=573) |                         | 36.6   | 31.1   | 32.3     | 2.3    |
| 男女別                          | 男性 (n=221)              | 41.6   | 24.9   | 33.5     | 2.3    |
|                              | 女性 (n=314)              | 37.6   | 26.1   | 36.3     | 2.2    |
| 文理別                          | 文系 (n=377)              | 36.6   | 26.8   | 36.6     | 2.3    |
|                              | 理系 (n=158)              | 45.6   | 22.8   | 31.6     | 2.2    |
| 企業志向別                        | 大企業志向 (n=291)           | 36.8   | 27.8   | 35.4     | 2.3    |
|                              | 中小企業志向 (n=141)          | 46.8   | 22.7   | 30.5     | 2.1    |
|                              | 企業の規模は全く意識していない (n=103) | 35.9   | 23.3   | 40.8     | 2.4    |
| 就活取組姿勢別                      | 積極的 (n=345)             | 33.3   | 25.5   | 41.2     | 2.4    |
|                              | 消極的 (n=190)             | 50.0   | 25.8   | 24.2     | 1.9    |

【図2.2】内定獲得者における複数内定獲得率：時系列、前年調査との比較





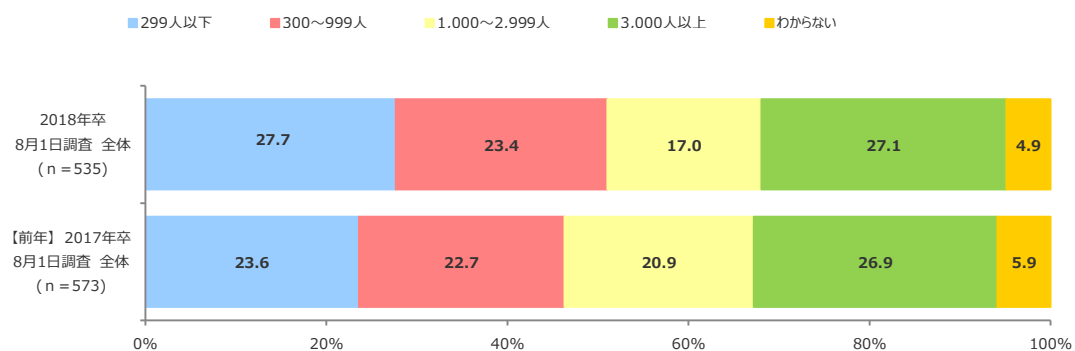
# 入社予定企業の従業員規模

「2 内定獲得状況」において、8月1日時点で内定を獲得している学生に、入社予定企業（複数内定獲得者は、現時点で最も入社志望度が高い企業）の従業員規模を聞いた。「299人以下」と「3,000人以上」の規模の企業に入社予定の学生が多く、それぞれ27.7%、27.1%に上っている（図3）。

属性別では、文理別で見ると、理系は「3,000人以上」の企業に入社予定の学生が32.9%と、文系学生よりも大規模企業に入社予定の学生の割合が高い。

企業規模に対する志向別に見ると、「大企業志向」の学生は、41.2%が「3,000人以上」の規模の企業に入社予定となっている。その反面、約3割は「999人以下」の企業に入社予定であり、自身の志向と入社予定企業の規模が合致していない者も一定数いるようだ（表3）。

【図3】入社予定企業の従業員規模：前年調査との比較



【表3】入社予定企業の従業員規模：属性別

|                                   |                           | 299人以下 | 300～999人 | 1,000～2,999人 | 3,000人以上 | わからない |
|-----------------------------------|---------------------------|--------|----------|--------------|----------|-------|
|                                   |                           | (%)    | (%)      | (%)          | (%)      | (%)   |
| 2018年卒<br>8月1日調査 全体 (n = 535)     |                           | 27.7   | 23.4     | 17.0         | 27.1     | 4.9   |
| 【前年】2017年卒<br>8月1日調査 全体 (n = 573) |                           | 23.6   | 22.7     | 20.9         | 26.9     | 5.9   |
| 男女別                               | 男性 (n = 221)              | 29.0   | 20.8     | 18.1         | 27.6     | 4.5   |
|                                   | 女性 (n = 314)              | 26.8   | 25.2     | 16.2         | 26.8     | 5.1   |
| 文理別                               | 文系 (n = 377)              | 30.2   | 24.4     | 16.2         | 24.7     | 4.5   |
|                                   | 理系 (n = 158)              | 21.5   | 20.9     | 19.0         | 32.9     | 5.7   |
| 企業規模に対する志向別                       | 大企業志向 (n = 291)           | 13.7   | 19.2     | 21.6         | 41.2     | 4.1   |
|                                   | 中小企業志向 (n = 141)          | 56.7   | 26.2     | 6.4          | 5.7      | 5.0   |
|                                   | 企業の規模は全く意識していない (n = 103) | 27.2   | 31.1     | 18.4         | 16.5     | 6.8   |
| 就活姿勢別                             | 積極的 (n = 345)             | 26.7   | 20.6     | 18.8         | 29.9     | 4.1   |
|                                   | 消極的 (n = 190)             | 29.5   | 28.4     | 13.7         | 22.1     | 6.3   |

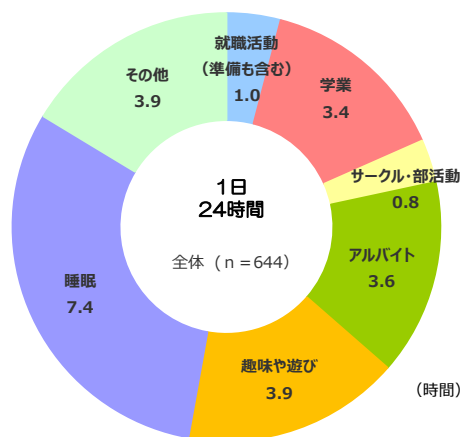
# 1日の活動時間

学生に、現在、1日のうち「就職活動（準備も含む）」「学業」「サークル・部活動」「アルバイト」「趣味や遊び」「睡眠」にどのくらいの時間を費やしているかを聞き、平均化した。結果は、「就職活動（準備も含む）」1.0時間、「学業」3.4時間、「サークル・部活動」0.8時間、「アルバイト」3.6時間、「趣味や遊び」3.9時間、「睡眠」7.4時間となった（図4.1）。

文理別に見ると、理系は「学業」に費やす時間が5.7時間で、文系の2倍以上となっている。また、文系は「アルバイト」に費やす時間が4.0時間となり、理系よりも多くなっていた（表4）。

前回調査から、「就職活動（準備も含む）」に費やす時間は0.9時間減少した。調査開始から最も少ない値となり、就職活動が収束に向かっていることが改めて感じられる（図4.2）。

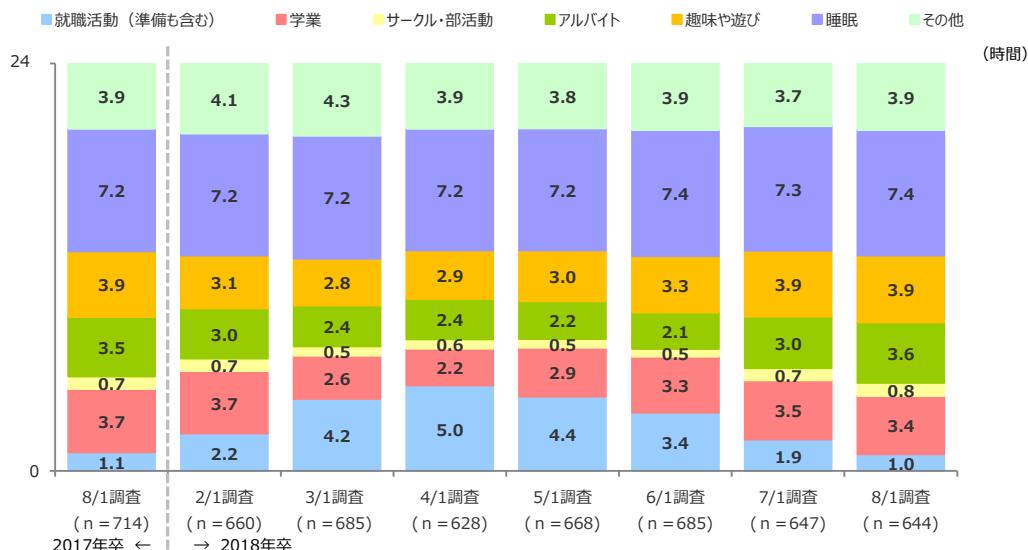
【図4.1】1日の活動時間／平均



【表4】1日の活動時間／平均：属性別

|                                 |                            | (時間)            |     |              |                   |                       |        |             |
|---------------------------------|----------------------------|-----------------|-----|--------------|-------------------|-----------------------|--------|-------------|
|                                 |                            | 就職活動<br>(準備も含む) | 学業  | サークル・<br>部活動 | アル<br>バ<br>イ<br>ト | 趣<br>味<br>や<br>遊<br>び | 睡<br>眠 | そ<br>の<br>他 |
| 2018年卒<br>8月1日調査 全体 (n=644)     |                            | 1.0             | 3.4 | 0.8          | 3.6               | 3.9                   | 7.4    | 3.9         |
| 【前年】2017年卒<br>8月1日調査 全体 (n=714) |                            | 1.1             | 3.7 | 0.7          | 3.5               | 3.9                   | 7.2    | 3.9         |
| 男女別                             | 男性<br>(n=269)              | 1.1             | 3.9 | 0.8          | 2.9               | 4.2                   | 7.4    | 3.7         |
|                                 | 女性<br>(n=375)              | 0.9             | 3.1 | 0.8          | 4.0               | 3.8                   | 7.4    | 4.1         |
| 文理別                             | 文系<br>(n=458)              | 1.1             | 2.5 | 0.9          | 4.0               | 4.1                   | 7.5    | 4.0         |
|                                 | 理系<br>(n=186)              | 0.6             | 5.7 | 0.6          | 2.5               | 3.6                   | 7.2    | 3.8         |
| 志 向<br>対 規<br>模 別               | 大企業志向<br>(n=320)           | 0.8             | 3.4 | 1.0          | 3.9               | 4.1                   | 7.4    | 3.5         |
|                                 | 中小企業志向<br>(n=182)          | 1.1             | 3.4 | 0.8          | 3.2               | 3.7                   | 7.3    | 4.5         |
|                                 | 企業の規模は全く意識<br>していない(n=142) | 1.2             | 3.6 | 0.4          | 3.2               | 3.9                   | 7.5    | 4.2         |
| 状 況<br>獲 得<br>定                 | 内定あり<br>(n=535)            | 0.6             | 3.5 | 0.8          | 3.8               | 4.0                   | 7.5    | 3.9         |
|                                 | 内定なし<br>(n=109)            | 2.8             | 3.4 | 0.5          | 2.2               | 3.9                   | 7.1    | 4.1         |
| 姿 勢<br>取 組<br>活                 | 積極的<br>(n=386)             | 1.0             | 3.3 | 0.8          | 3.9               | 3.8                   | 7.3    | 3.9         |
|                                 | 消極的<br>(n=258)             | 1.0             | 3.6 | 0.7          | 3.1               | 4.2                   | 7.5    | 4.0         |

【図4.2】1日の活動時間／平均：時系列、前年調査との比較



# 会社説明会参加回数

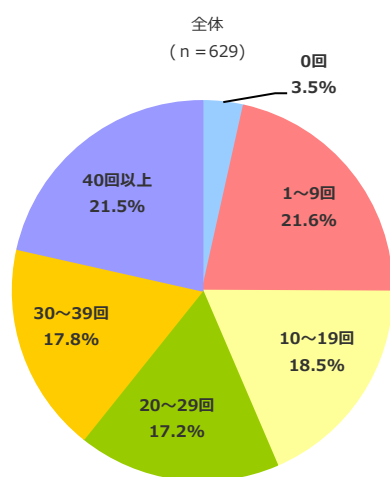
「1 就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」以外の回答をした学生に対し、8月1日までに参加した会社説明会の回数を聞いた。結果は、多い順に、「1～9回」21.6%、「40回以上」21.5%、「10～19回」18.5%となっている（図5.1）。

平均参加回数は24.4回となっており、前年調査よりも2.1回少ない。

属性別に見ると、内定獲得状況別では「内定あり」の学生で参加回数が多い。また、就活取組姿勢別では「積極的」な学生と「消極的」な学生で約8社の差が生じていた（表5）。

時系列で見ると、前回調査の平均24.4回から変化はなかった（図5.2）。

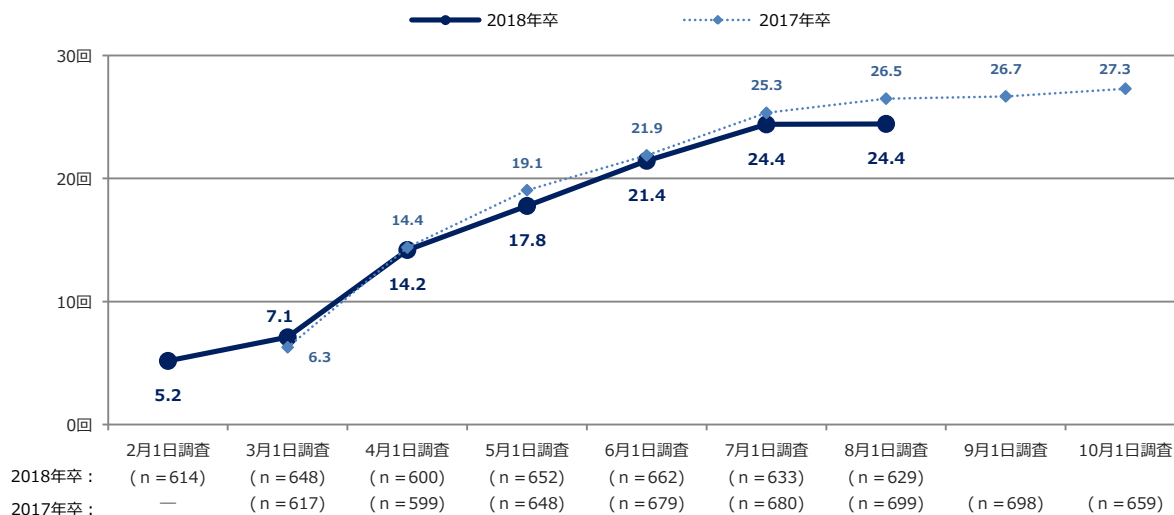
【図5.1】会社説明会参加回数



【表5】会社説明会参加回数：属性別

|                                 |                         | 0回  | 1～9回 | 10～19回 | 20～29回 | 30～39回 | 40回以上 | 平均   |
|---------------------------------|-------------------------|-----|------|--------|--------|--------|-------|------|
|                                 |                         | (%) | (%)  | (%)    | (%)    | (%)    | (%)   | (回)  |
| 2018年卒<br>8月1日調査 全体 (n=629)     |                         | 3.5 | 21.6 | 18.5   | 17.2   | 17.8   | 21.5  | 24.4 |
| 【前年】2017年卒<br>8月1日調査 全体 (n=699) |                         | 1.9 | 15.7 | 19.5   | 19.5   | 19.2   | 24.3  | 26.5 |
| 男女別                             | 男性 (n=261)              | 3.4 | 24.5 | 18.4   | 16.5   | 17.2   | 19.9  | 23.7 |
|                                 | 女性 (n=368)              | 3.5 | 19.6 | 18.5   | 17.7   | 18.2   | 22.6  | 24.9 |
| 文理別                             | 文系 (n=447)              | 3.1 | 16.8 | 16.7   | 17.7   | 20.8   | 24.8  | 27.2 |
|                                 | 理系 (n=182)              | 4.4 | 33.5 | 22.5   | 15.9   | 10.4   | 13.2  | 17.7 |
| 企業志向別                           | 大企業志向 (n=317)           | 3.2 | 19.2 | 17.3   | 15.8   | 18.9   | 25.6  | 26.3 |
|                                 | 中小企業志向 (n=176)          | 4.0 | 25.0 | 22.7   | 18.2   | 15.3   | 14.8  | 21.4 |
|                                 | 企業の規模は全く意識していない (n=136) | 3.7 | 22.8 | 15.4   | 19.1   | 18.4   | 20.6  | 24.1 |
| 内定獲得状況別                         | 内定あり (n=535)            | 3.0 | 18.3 | 19.3   | 17.6   | 19.3   | 22.6  | 25.4 |
|                                 | 内定なし (n=94)             | 6.4 | 40.4 | 13.8   | 14.9   | 9.6    | 14.9  | 18.9 |
| 就活取組姿勢別                         | 積極的 (n=383)             | 3.7 | 16.4 | 15.4   | 18.3   | 20.1   | 26.1  | 27.6 |
|                                 | 消極的 (n=246)             | 3.3 | 29.7 | 23.1   | 15.4   | 14.2   | 14.2  | 19.5 |

【図5.2】会社説明会参加回数／平均：時系列、前年調査との比較



# 応募企業数

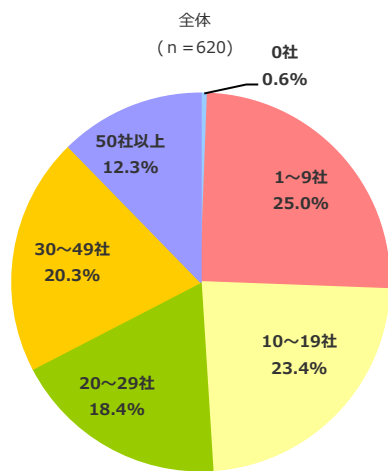
「1 就職活動の進捗状況」において、就職活動が「エントリー活動段階」以降に進んでいる学生に対し、8月1日までに選考に応募した企業数を聞いた。多かった順に、「1～9社」25.0%、「10～19社」23.4%、「30～49社」20.3%となっている（図6.1）。

応募企業数の平均は24.1社で、前年よりも2.2社減少している。

属性別では、企業規模に対する志向別に見ると、「大企業志向」の学生が平均27.7社なのに対し、「中小企業志向」の学生は平均18.6社となっており、9.1社の差があった。また、就活取組姿勢別に見ると、「積極的」な学生は平均28.2社、「消極的」な学生は平均17.5社と10社以上の差が開いており、活動量の差が大きい（表6）。

時系列で見ると、前回調査の平均22.7社から1.4社の増加となり、4月1日から前年を下回る状況が続いている（図6.2）。

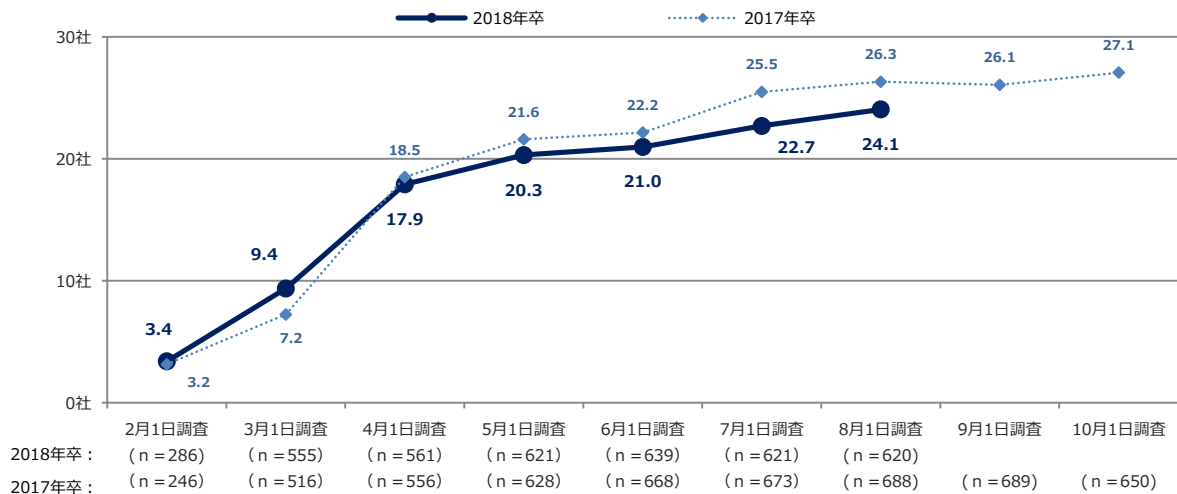
【図6.1】選考に応募した企業数



【表6】選考に応募した企業数：属性別

|                                 |                         | 0社  | 1～9社 | 10～19社 | 20～29社 | 30～49社 | 50社以上 | 平均   |
|---------------------------------|-------------------------|-----|------|--------|--------|--------|-------|------|
|                                 |                         | (%) | (%)  | (%)    | (%)    | (%)    | (%)   | (社)  |
| 2018年卒<br>8月1日調査 全体 (n=620)     |                         | 0.6 | 25.0 | 23.4   | 18.4   | 20.3   | 12.3  | 24.1 |
| 【前年】2017年卒<br>8月1日調査 全体 (n=688) |                         | 0.3 | 18.9 | 25.3   | 19.0   | 24.0   | 12.5  | 26.3 |
| 男女別                             | 男性 (n=256)              | 0.4 | 27.0 | 25.0   | 15.2   | 20.7   | 11.7  | 22.9 |
|                                 | 女性 (n=364)              | 0.8 | 23.6 | 22.3   | 20.6   | 20.1   | 12.6  | 24.9 |
| 文理別                             | 文系 (n=440)              | 0.5 | 19.3 | 24.3   | 18.6   | 23.0   | 14.3  | 25.9 |
|                                 | 理系 (n=180)              | 1.1 | 38.9 | 21.1   | 17.8   | 13.9   | 7.2   | 19.7 |
| 企業志向別                           | 大企業志向 (n=316)           | 0.0 | 18.0 | 22.5   | 18.4   | 24.1   | 17.1  | 27.7 |
|                                 | 中小企業志向 (n=172)          | 1.2 | 34.9 | 24.4   | 18.0   | 16.3   | 5.2   | 18.6 |
|                                 | 企業の規模は全く意識していない (n=132) | 1.5 | 28.8 | 24.2   | 18.9   | 16.7   | 9.8   | 22.5 |
| 状況別                             | 内定あり (n=535)            | 0.0 | 23.0 | 23.9   | 18.9   | 21.9   | 12.3  | 24.7 |
|                                 | 内定なし (n=85)             | 4.7 | 37.6 | 20.0   | 15.3   | 10.6   | 11.8  | 19.8 |
| 就活姿勢別                           | 積極的 (n=380)             | 0.3 | 18.4 | 21.8   | 19.5   | 23.9   | 16.1  | 28.2 |
|                                 | 消極的 (n=240)             | 1.3 | 35.4 | 25.8   | 16.7   | 14.6   | 6.3   | 17.5 |

【図6.2】選考に応募した企業数／平均：時系列、前年調査との比較



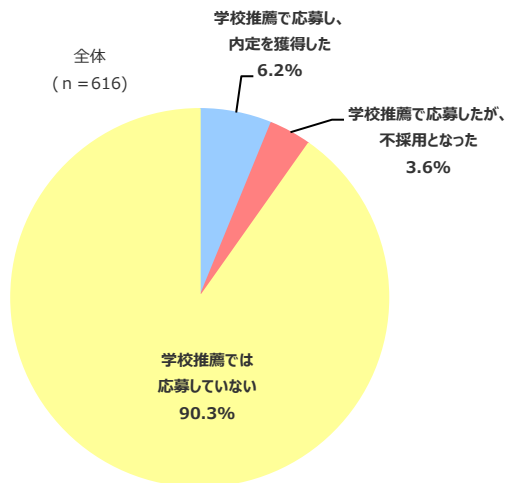
# 学校推薦での応募状況

「6 応募企業数」において、「1社」以上と回答した学生に、学校推薦枠で応募した企業があるかを聞いた。

「学校推薦で応募し、内定を獲得した」が6.2%、「学校推薦で応募したが、不採用となった」が3.6%となり、約1割が「学校推薦で応募した（「学校推薦で応募し、内定を獲得した」と「学校推薦で応募したが、不採用となった」の計、以下同）」企業がある（図7）。

属性別に見ると、文理別では「学校推薦で応募した」経験がある学生は、文系では5.0%なのに対し、理系では21.4%と高い。うち、「学校推薦で応募し、内定を獲得した」学生が15.2%となり、内定まで至った学生が約7割を占めている。また、入社予定企業の従業員規模別では、「3,000人以上」の規模の企業に入社予定の学生で、「学校推薦で応募した」経験がある学生の割合が高くなっていた（表7）。

【図7】学校推薦での応募状況



【表7】学校推薦での応募状況：属性別

|               |                     | 学校推薦で応募した |         | 学校推薦で応募していない |
|---------------|---------------------|-----------|---------|--------------|
|               |                     | 内定を獲得した   | 不採用となった | (%)          |
|               |                     | (%)       | (%)     | (%)          |
| 全体 (n=616)    |                     | 6.2       | 3.6     | 90.3         |
| 男女別           | 男性 (n=255)          | 9.8       | 5.9     | 84.3         |
|               | 女性 (n=361)          | 3.6       | 1.9     | 94.5         |
| 文理別           | 文系 (n=438)          | 2.5       | 2.5     | 95.0         |
|               | 理系 (n=178)          | 15.2      | 6.2     | 78.7         |
| 内定獲得状況別       | 内定あり (n=535)        | 7.1       | 3.0     | 89.9         |
|               | 内定なし (n=81)         | —         | 7.4     | 92.6         |
| 入社予定企業の従業員規模別 | 299人以下 (n=148)      | 3.4       | 2.7     | 93.9         |
|               | 300~999人 (n=125)    | 4.8       | 3.2     | 92.0         |
|               | 1,000~2,999人 (n=91) | 4.4       | 4.4     | 91.2         |
|               | 3,000人以上 (n=145)    | 15.2      | 2.8     | 82.1         |

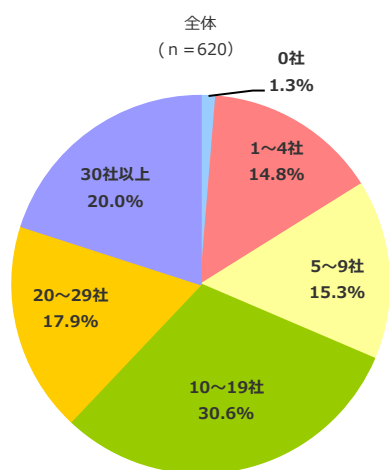
|           |
|-----------|
| n=30以上で   |
| 全体+10pt以上 |
| 全体+5pt以上  |
| 全体-5pt以下  |
| 全体-10pt以下 |

「1 就職活動の進捗状況」において、就職活動が「エントリー活動段階」以降に進んでいる学生に対し、8月1日までにエントリーシートや履歴書を提出した企業数を聞いた。結果は、「10～19社」と回答した学生が最も多く、30.6%だった。以降は「30社以上」20.0%、「20～29社」17.9%となっている（図8.1）。

エントリーシート・履歴書提出企業数の平均は17.0社で、前年調査から0.7社減少した。属性別に見ると、就活取組姿勢別では、「積極的」な学生は提出企業数が20社と多くなっていた（表8）。

時系列で見ると、前回調査の平均16.2社から0.8社の増加となった（図8.2）。

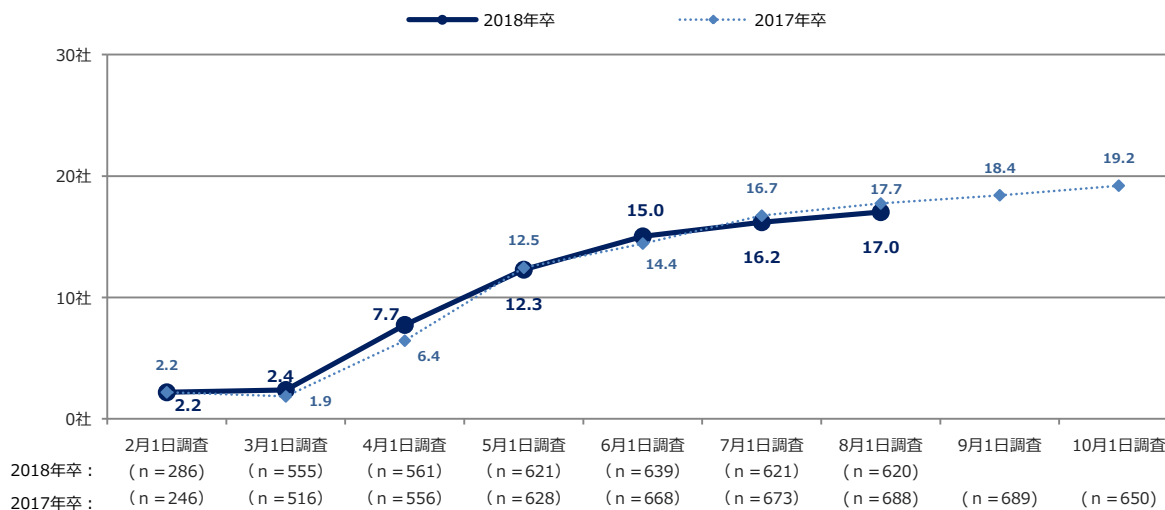
【図8.1】エントリーシート・履歴書提出企業数



【表8】エントリーシート・履歴書提出企業数：属性別

|                                 |                         | 0社  | 1～4社 | 5～9社 | 10～19社 | 20～29社 | 30社以上 | 平均   |
|---------------------------------|-------------------------|-----|------|------|--------|--------|-------|------|
|                                 |                         | (%) | (%)  | (%)  | (%)    | (%)    | (%)   | (社)  |
| 2018年卒<br>8月1日調査 全体 (n=620)     |                         | 1.3 | 14.8 | 15.3 | 30.6   | 17.9   | 20.0  | 17.0 |
| 【前年】2017年卒<br>8月1日調査 全体 (n=688) |                         | 0.4 | 10.6 | 15.4 | 31.7   | 20.6   | 21.2  | 17.7 |
| 男女別                             | 男性 (n=256)              | 0.4 | 16.4 | 16.0 | 29.7   | 16.8   | 20.7  | 16.8 |
|                                 | 女性 (n=364)              | 1.9 | 13.7 | 14.8 | 31.3   | 18.7   | 19.5  | 17.2 |
| 文理別                             | 文系 (n=440)              | 0.9 | 10.7 | 14.3 | 31.8   | 19.3   | 23.0  | 18.4 |
|                                 | 理系 (n=180)              | 2.2 | 25.0 | 17.8 | 27.8   | 14.4   | 12.8  | 13.6 |
| 企業志向別                           | 大企業志向 (n=316)           | 0.0 | 12.7 | 10.1 | 34.8   | 18.0   | 24.4  | 18.9 |
|                                 | 中小企業志向 (n=172)          | 2.9 | 15.1 | 24.4 | 26.2   | 17.4   | 14.0  | 14.4 |
|                                 | 企業の規模は全く意識していない (n=132) | 2.3 | 19.7 | 15.9 | 26.5   | 18.2   | 17.4  | 15.9 |
| 状況獲得別                           | 内定あり (n=535)            | 0.4 | 12.9 | 15.7 | 32.1   | 17.8   | 21.1  | 17.6 |
|                                 | 内定なし (n=85)             | 7.1 | 27.1 | 12.9 | 21.2   | 18.8   | 12.9  | 13.5 |
| 就活姿勢別                           | 積極的 (n=380)             | 0.3 | 8.9  | 13.9 | 30.0   | 20.0   | 26.8  | 20.0 |
|                                 | 消極的 (n=240)             | 2.9 | 24.2 | 17.5 | 31.7   | 14.6   | 9.2   | 12.3 |

【図8.2】エントリーシート・履歴書提出企業数／平均：時系列、前年調査との比較



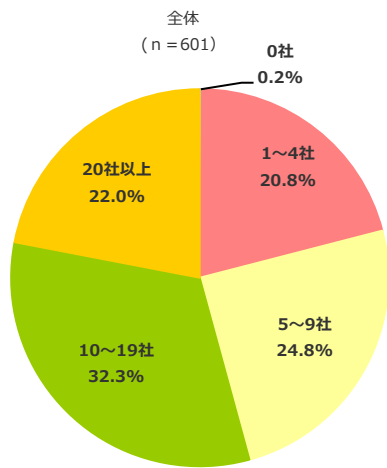
# 面接選考企業数

「1 就職活動の進捗状況」において、就職活動が「面接・試験段階」以降に進んでいる学生に対し、8月1日まで面接の選考（グループワークやグループディスカッションも含む）を受けた企業数を聞いた。結果は、「10～19社」と回答した学生が最も多く、32.3%だった（図9.1）。

平均社数は12.2社だった。前年調査に比べ、応募企業数は減少しているにもかかわらず（表6 参照）、面接選考企業数は同水準を維持しており、前年よりも面接選考に進みやすい状況である。属性別に見ると、文理別では理系より文系、内定獲得状況別では「内定あり」の学生で平均社数が多くなっている（表9）。

時系列で見ると、前回調査の平均11.3社から0.9社の増加となった（図9.2）。

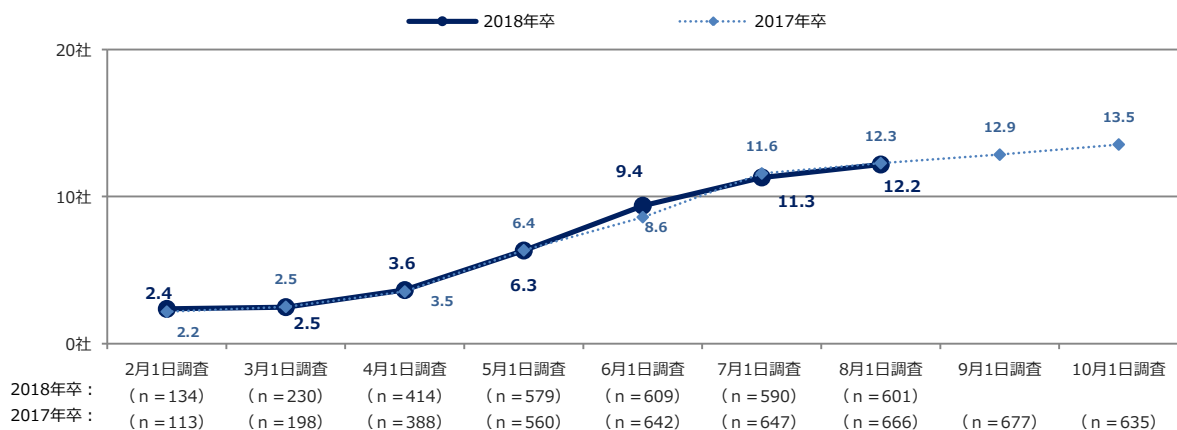
【図9.1】面接選考企業数



【表9】面接選考企業数：属性別

|                                 |                         | 0社  | 1～4社 | 5～9社 | 10～19社 | 20社以上 | 平均   |
|---------------------------------|-------------------------|-----|------|------|--------|-------|------|
|                                 |                         | (%) | (%)  | (%)  | (%)    | (%)   | (社)  |
| 2018年卒<br>8月1日調査 全体 (n=601)     |                         | 0.2 | 20.8 | 24.8 | 32.3   | 22.0  | 12.2 |
| 【前年】2017年卒<br>8月1日調査 全体 (n=666) |                         | 0.3 | 16.4 | 23.6 | 37.8   | 21.9  | 12.3 |
| 男女別                             | 男性 (n=249)              | 0.4 | 21.3 | 22.5 | 34.1   | 21.7  | 12.4 |
|                                 | 女性 (n=352)              | 0.0 | 20.5 | 26.4 | 31.0   | 22.2  | 12.0 |
| 文理別                             | 文系 (n=430)              | 0.2 | 16.0 | 24.9 | 33.5   | 25.3  | 13.1 |
|                                 | 理系 (n=171)              | 0.0 | 32.7 | 24.6 | 29.2   | 13.5  | 9.9  |
| 対する企業規模に                        | 大企業志向 (n=313)           | 0.0 | 18.2 | 24.3 | 33.9   | 23.6  | 12.8 |
|                                 | 中小企業志向 (n=164)          | 0.6 | 23.2 | 27.4 | 31.7   | 17.1  | 10.5 |
|                                 | 企業の規模は全く意識していない (n=124) | 0.0 | 24.2 | 22.6 | 29.0   | 24.2  | 12.9 |
| 内定獲得状況別                         | 内定あり (n=535)            | 0.0 | 19.6 | 24.5 | 33.3   | 22.6  | 12.5 |
|                                 | 内定なし (n=66)             | 1.5 | 30.3 | 27.3 | 24.2   | 16.7  | 9.4  |
| 就活姿勢別                           | 積極的 (n=377)             | 0.3 | 14.6 | 23.9 | 34.0   | 27.3  | 13.9 |
|                                 | 消極的 (n=224)             | 0.0 | 31.3 | 26.3 | 29.5   | 12.9  | 9.3  |

【図9.2】面接選考企業数／平均：時系列、前年調査との比較



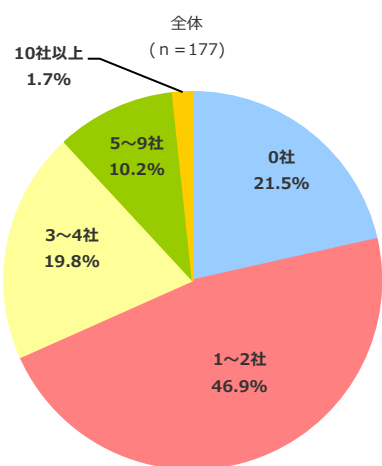
# 現在選考中の企業数

「1 就職活動の進捗状況」において、就職活動が「エントリー活動段階」以降に進んでおり、就職活動を継続している学生に対し、8月1日時点で「選考中」（応募はしているが、選考途中で最終的な結果が出ていない状態）の企業数を聞いた。結果は、「1～2社」と回答した学生が最も多く、46.9%となっている（図10.1）。

平均は2.4社で、前年調査から0.1社増加した。属性別に見ると、企業規模に対する志向別では「大企業志向」の学生、就活取組姿勢別では「積極的」な学生で、平均が3社を超えていた（表10）。

時系列で見ると、前回調査の平均2.5社から0.1社の減少となった。前年とほぼ同様の動きとなり、就職活動が収束に向かっていることがうかがえる（図10.2）。

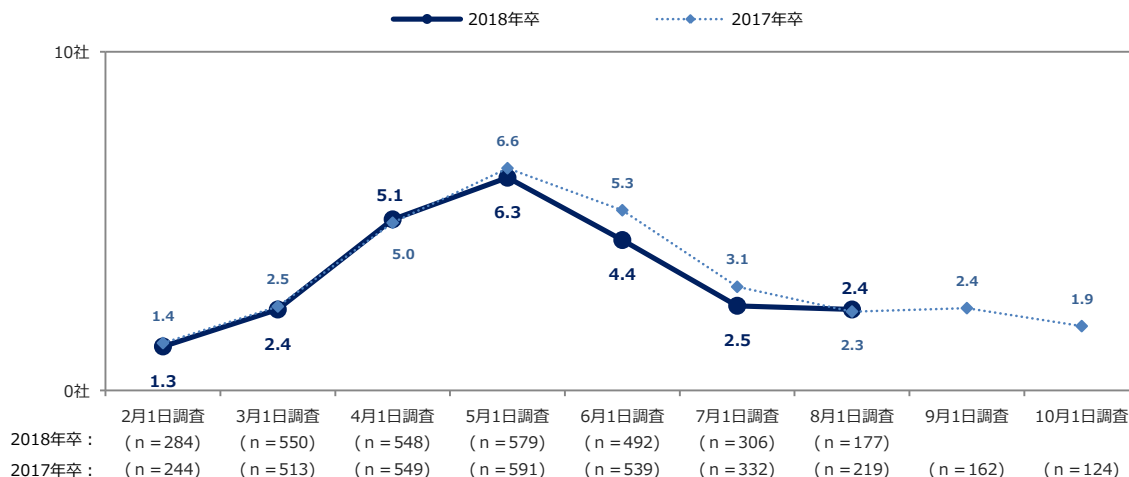
【図10.1】現在選考中の企業数



【表10】現在選考中の企業数：属性別

|                                 |                        | 0社   | 1～2社 | 3～4社 | 5～9社 | 10社以上 | 平均  |
|---------------------------------|------------------------|------|------|------|------|-------|-----|
|                                 |                        | (%)  | (%)  | (%)  | (%)  | (%)   | (社) |
| 2018年卒<br>8月1日調査 全体 (n=177)     |                        | 21.5 | 46.9 | 19.8 | 10.2 | 1.7   | 2.4 |
| 【前年】2017年卒<br>8月1日調査 全体 (n=219) |                        | 20.5 | 42.9 | 18.3 | 15.1 | 3.2   | 2.3 |
| 男女別                             | 男性 (n=72)              | 22.2 | 40.3 | 19.4 | 16.7 | 1.4   | 2.5 |
|                                 | 女性 (n=105)             | 21.0 | 51.4 | 20.0 | 5.7  | 1.9   | 2.3 |
| 文理別                             | 文系 (n=134)             | 20.1 | 46.3 | 20.9 | 10.4 | 2.2   | 2.6 |
|                                 | 理系 (n=43)              | 25.6 | 48.8 | 16.3 | 9.3  | 0.0   | 1.9 |
| 対する企業規模に                        | 大企業志向 (n=69)           | 18.8 | 46.4 | 21.7 | 8.7  | 4.3   | 3.1 |
|                                 | 中小企業志向 (n=56)          | 21.4 | 46.4 | 23.2 | 8.9  | 0.0   | 2.0 |
|                                 | 企業の規模は全く意識していない (n=52) | 25.0 | 48.1 | 13.5 | 13.5 | 0.0   | 1.9 |
| 状況別                             | 内定あり (n=92)            | 17.4 | 50.0 | 21.7 | 9.8  | 1.1   | 2.6 |
|                                 | 内定なし (n=85)            | 25.9 | 43.5 | 17.6 | 10.6 | 2.4   | 2.2 |
| 姿勢別                             | 積極的 (n=85)             | 16.5 | 41.2 | 24.7 | 15.3 | 2.4   | 3.1 |
|                                 | 消極的 (n=92)             | 26.1 | 52.2 | 15.2 | 5.4  | 1.1   | 1.7 |

【図10.2】現在選考中の企業数／平均：時系列、前年調査との比較





# 企業への新たな応募予定（8月）

「1 就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」または「内定獲得／就活終了段階」と回答した学生を除いて、8月1日時点の就職活動において新たに企業に応募する予定があるかを聞いた。「ある」と回答した学生は64.5%で、前回調査からやや減少した（図11.1）。

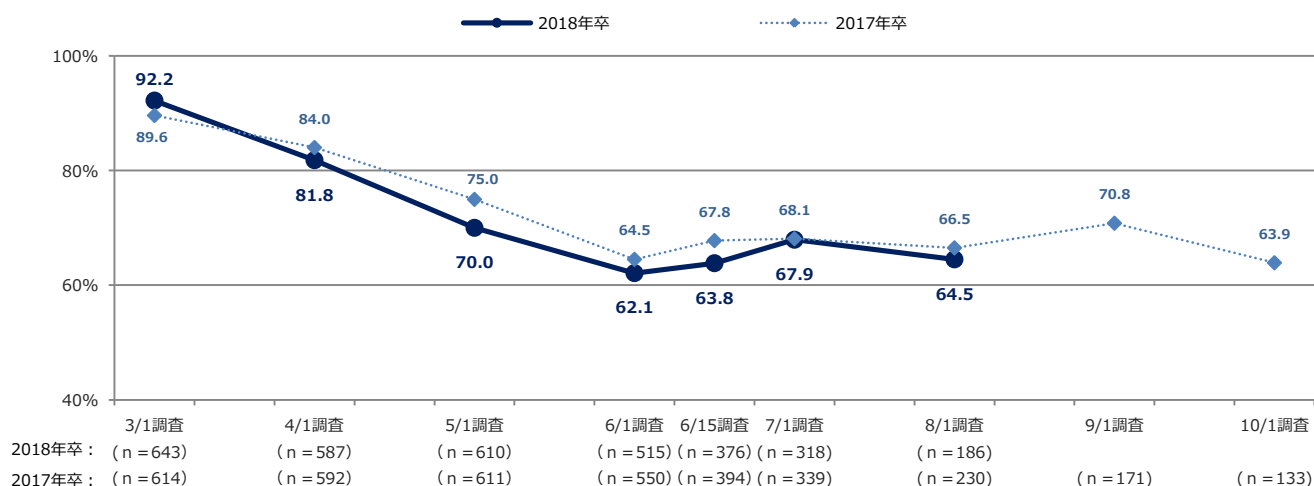
また、新たに企業に応募する予定が「ある」と回答した学生に対し、今まで“興味がなかった業界”や“興味がなかった職種”にも応募するかを聞いた。

今まで“興味がなかった業界”にも応募する予定が「ある」学生は63.3%に上り、前回調査と同水準となった。

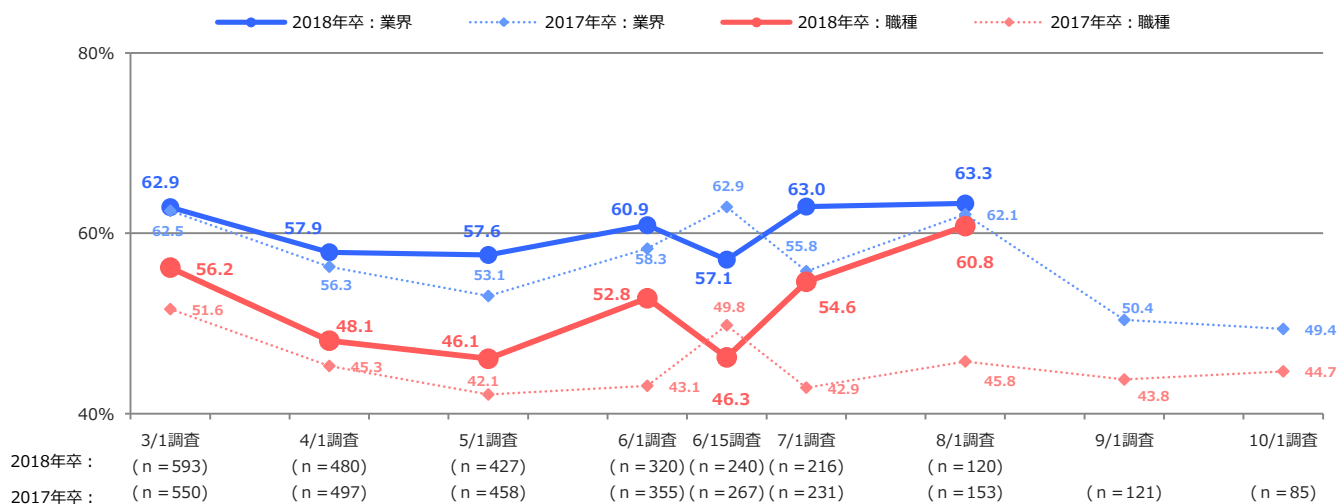
今まで“興味がなかった職種”にも応募する予定が「ある」学生は60.8%で、“業界”の動きと同様、7月1日に引き続き、増加傾向となっている。

時系列で見ると、“興味がなかった業界または職種”に応募予定が「ある」と回答した学生の割合は、6月1日までは前年を上回る数値となっていたが、6月15日調査で一旦減少し、7月1日以降再び増加している。特に、“興味がなかった職種”への応募意向は大幅に増加しており、視野を広げる学生の割合が多くなっている（図11.2）。

【図11.1】 今月、新たに企業に応募する予定がある学生の割合：時系列、前年調査との比較



【図11.2】 興味なかった業界や職種にも応募する予定があるか：時系列、前年調査との比較



# “後付け推薦”を 求められたことがあるか

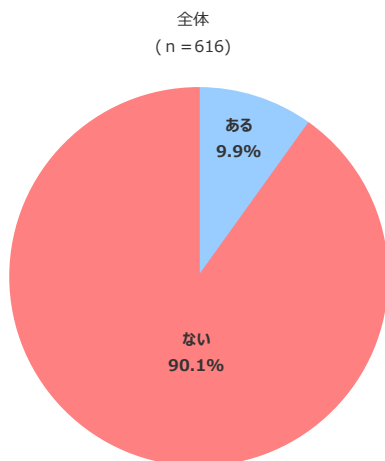
「6 応募企業数」において、「1社」以上と回答した学生に、企業から“後付け推薦※”を求められたことがあるかを聞いた。

「ある」と回答した学生が9.9%だった（図12）。

属性別に見ると、「ある」と回答した学生の割合は文系では5.7%なのに対し、理系では20.2%と高くなっていた。また、入社予定企業の従業員規模別では、従業員規模の大きい企業に入社予定の学生ほど「ある」と回答した割合が高く、「3,000人以上」の規模の企業に入社予定の学生では19.3%に上った（表12）。

※後付け推薦：学校推薦等ではなく、一般応募で応募した企業から選考途中や内定時に学校・教授等の推薦状の提出を求められること。

【図12】“後付け推薦”を求められたことがあるか



【表12】“後付け推薦”を求められたことがあるか：属性別

|            |                     | n=30以上で   |           |
|------------|---------------------|-----------|-----------|
|            |                     | 全体+10pt以上 | 全体+5pt以上  |
|            |                     | 全体+5pt以下  | 全体+10pt以下 |
|            |                     | ある (%)    | ない (%)    |
| 全体 (n=616) |                     | 9.9       | 90.1      |
| 男女別        | 男性 (n=255)          | 12.5      | 87.5      |
|            | 女性 (n=361)          | 8.0       | 92.0      |
| 文理別        | 文系 (n=438)          | 5.7       | 94.3      |
|            | 理系 (n=178)          | 20.2      | 79.8      |
| 状況別        | 内定あり (n=535)        | 10.3      | 89.7      |
|            | 内定なし (n=81)         | 7.4       | 92.6      |
| 従業員規模別     | 299人以下 (n=148)      | 4.1       | 95.9      |
|            | 300~999人 (n=125)    | 9.6       | 90.4      |
|            | 1,000~2,999人 (n=91) | 9.9       | 90.1      |
|            | 3,000人以上 (n=145)    | 19.3      | 80.7      |

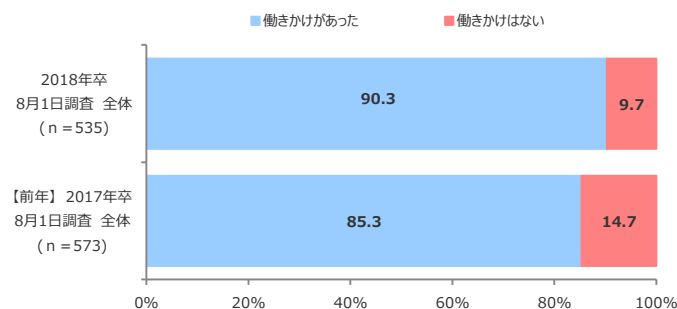
# 企業から受けた内定者フォロー

「2 内定獲得状況」において、8月1日時点で内定を獲得している学生に、内定獲得後に内定企業から働きかけ（内定者フォロー）があった（ある予定）かを聞いた。「働きかけがあった」と回答した学生は90.3%に上り、前年から5.0ポイント増加していた（図13.1）。

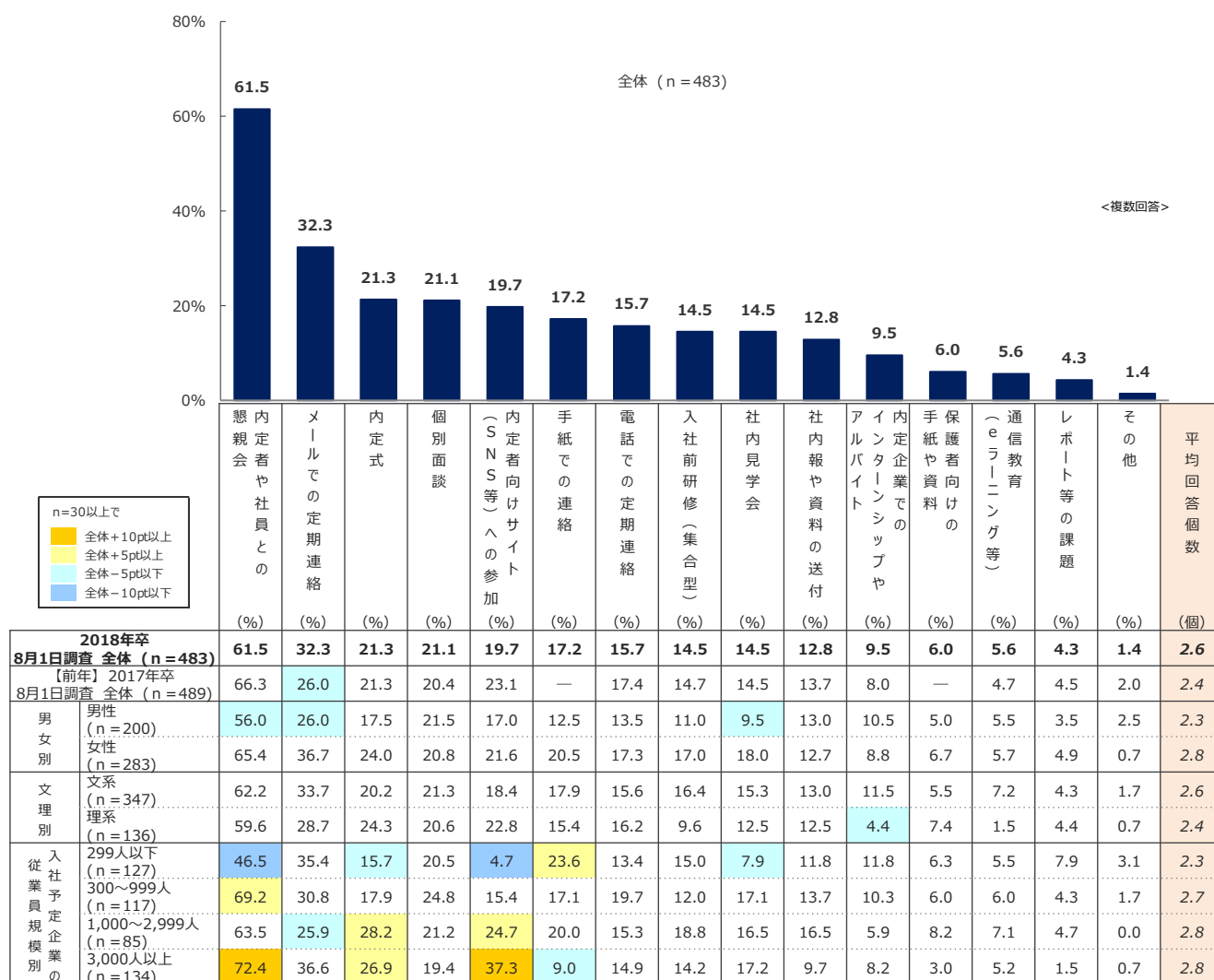
さらに、「働きかけがあった」と回答した学生に、具体的な内容（行なわれる予定のものも含む）を聞くと、最も多かったのは、「内定者や社員との懇親会」で61.5%だった、次いで、「メールでの定期連絡」32.3%、「内定式」21.3%、「個別面談」21.1%となっている。

入社予定企業の従業員規模別に見ると、従業員規模が大きい企業に入社予定の学生ほど、多くの内定者フォローを受けているようだ。特に、「内定者や社員との懇親会」や「内定者向けサイト（SNS等）への参加」でその傾向が強く出ていた（図13.2）。

【図13.1】内定獲得後に内定企業から働きかけがあったか：前年調査との比較



【図13.2】内定企業から受けた内定者フォロー：属性別



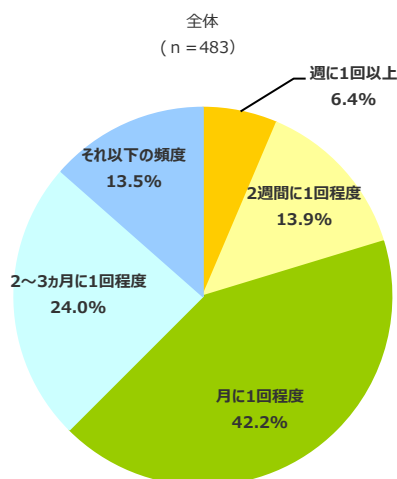
# 内定者フォローの頻度

「13 企業から受けた内定者フォロー」において、内定企業からの「働きかけがあった」学生に、その頻度を聞いた。結果は、「月に1回程度」が最も多く42.2%、次いで「2～3カ月に1回程度」24.0%となっている（図14.1）。

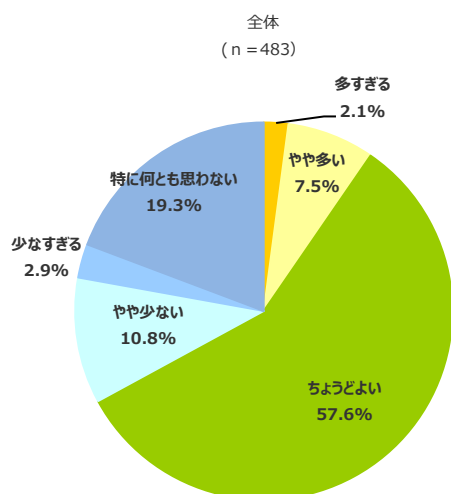
また、企業からの内定者フォローの頻度についてどのように感じているかを聞くと、「ちょうどよい」と回答した学生が最も多く、57.6%に上った（図14.2）。

さらに、内定者フォローの頻度との関係を見ると、「週に1回以上」の内定者フォローを受けた学生は、それに対して「多すぎる」「やや多い」と回答している割合が高く、煩わしさを感じている様子がうかがえる。「ちょうどよい」の回答割合が高いのは、「2週間に1回程度」（71.6%）、「月に1回程度」（68.1%）で、このくらいの頻度が学生にとっては適切であるようだ（図14.3）。

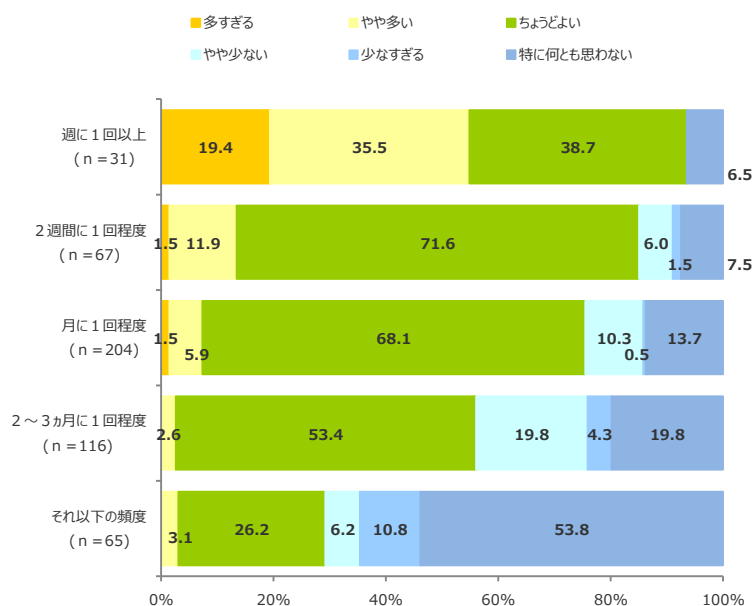
【図14.1】企業からの内定者フォローの頻度



【図14.2】企業からの内定者フォローの頻度についてどのように感じているか



【図14.3】企業からの内定者フォローの頻度についてどのように感じているか：内定者フォローの頻度別

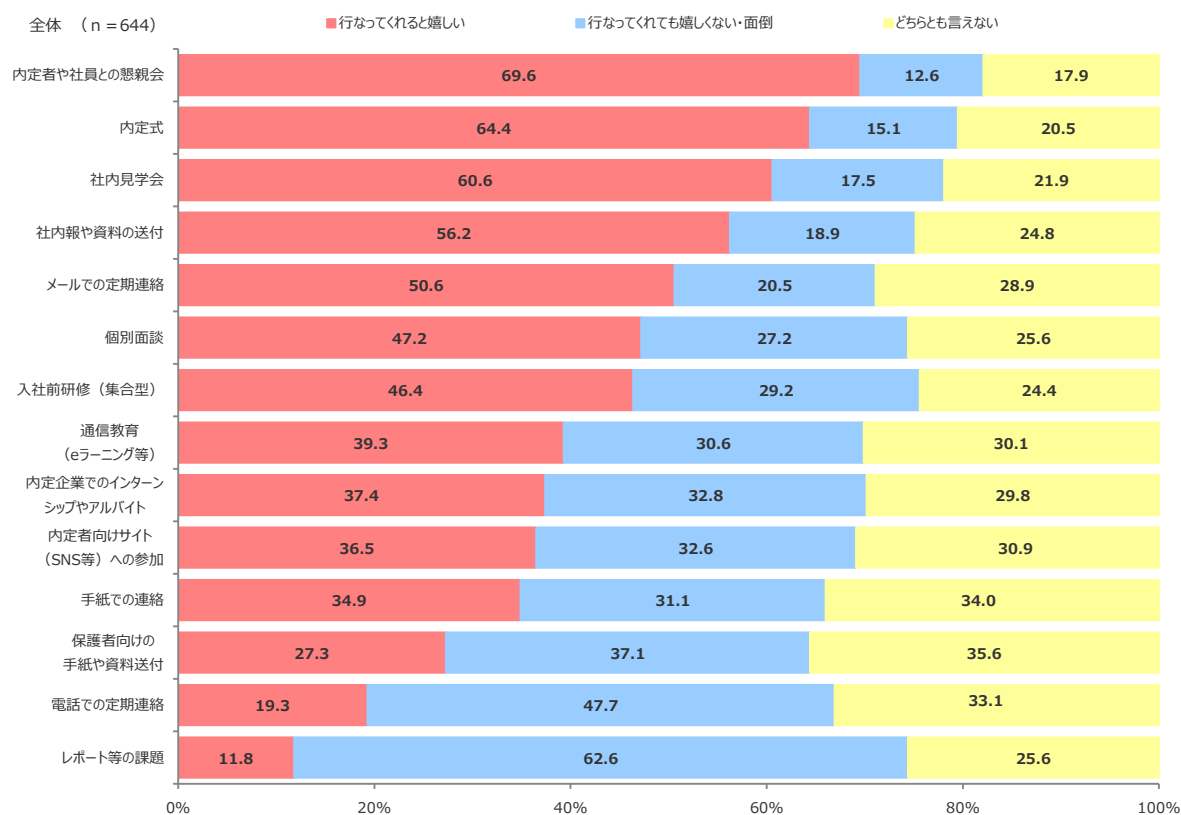


# 行なってくれると嬉しい内定者フォロー・面倒に感じる内定者フォロー

学生に、内定を獲得してから入社までの間に、内定企業がどのような内定者フォローを行なってくれると嬉しい、もしくは嬉しくない・面倒に感じるかを聞いた。「行なってくれると嬉しい」と感じる内定者フォローは、「内定者や社員との懇親会」69.6%、「内定式」64.4%、「社内見学会」60.6%、「社内報や資料の送付」56.2%の順となった。反対に、「行なってくれると嬉しくない・面倒」と感じる内定者フォローのワースト1位は「レポート等の課題」で、62.6%と突出している。以降は「電話での定期連絡」47.7%、「保護者向けの手紙や資料送付」37.1%、「内定企業でのインターンシップやアルバイト」32.8%と続いている（図15.1）。

「行なってくれると嬉しい」と感じる内定者フォローについて、男女別に傾向を見ると、多くの項目で男性よりも女性の方が回答割合が高く、企業が行なうさまざまな内定者フォローに対して好意的に捉えている傾向があった。また、文理別で見ると、理系は文系に比べて、「メールでの定期連絡」「内定企業でのインターンシップやアルバイト」「入社前研修（集合型）」の内定者フォローに対して嬉しいと感じる割合が、10ポイント前後低くなっていた（表15）。

【図15.1】行なってくれると嬉しい／嬉しくない・面倒な内定者フォロー

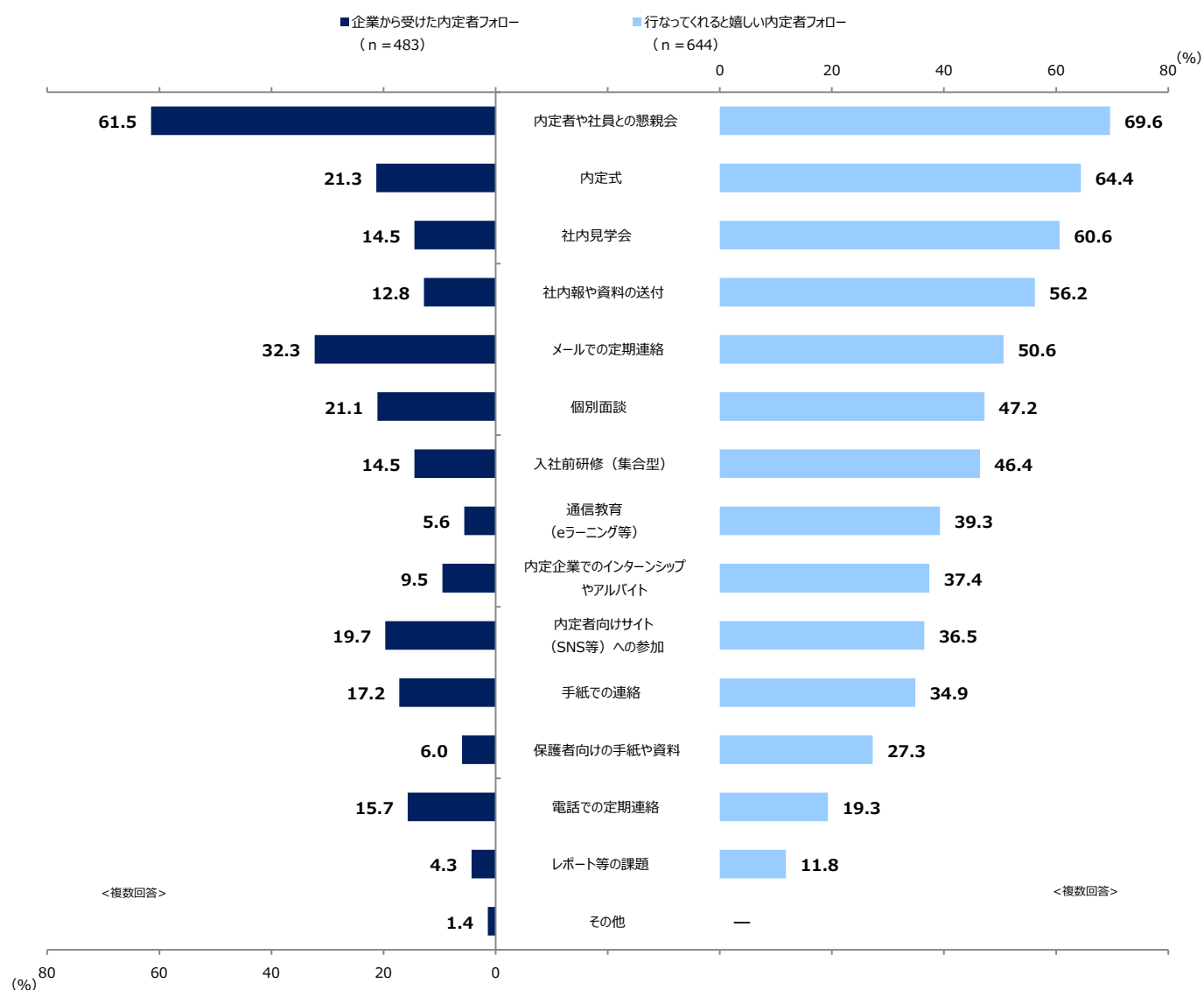


【表15】行なってくれると嬉しい内定者フォロー：属性別

|                                |               | ＜複数回答＞          |      |       |           |           |      |                |                   |                        |                                      |        |                   |          |          |
|--------------------------------|---------------|-----------------|------|-------|-----------|-----------|------|----------------|-------------------|------------------------|--------------------------------------|--------|-------------------|----------|----------|
|                                |               | 懇親会<br>内定者や社員との | 内定式  | 社内見学会 | 社内報や資料の送付 | メールでの定期連絡 | 個別面談 | 入社前研修<br>（集合型） | 通信教育<br>（eラーニング等） | アルバイ<br>トインターン<br>シップや | 内定企業での<br>インターンシ<br>ップへの参<br>加（SNS等） | 手紙での連絡 | 保護者向けの<br>手紙や資料送付 | 電話での定期連絡 | レポート等の課題 |
|                                |               | (%)             | (%)  | (%)   | (%)       | (%)       | (%)  | (%)            | (%)               | (%)                    | (%)                                  | (%)    | (%)               | (%)      | (%)      |
| 2018年卒<br>8月1日調査 全体（n＝644）     |               | 69.6            | 64.4 | 60.6  | 56.2      | 50.6      | 47.2 | 46.4           | 39.3              | 37.4                   | 36.5                                 | 34.9   | 27.3              | 19.3     | 11.8     |
| 【前年】2017年卒<br>8月1日調査 全体（n＝714） |               | 71.6            | 67.9 | 62.2  | 59.4      | 55.0      | 44.3 | 47.3           | 39.6              | 37.3                   | 39.6                                 | —      | —                 | 23.5     | 9.0      |
| 男女別                            | 男性<br>（n＝269） | 66.9            | 56.9 | 54.6  | 50.9      | 50.2      | 51.3 | 45.4           | 45.0              | 40.5                   | 36.4                                 | 31.6   | 26.0              | 24.2     | 17.8     |
|                                | 女性<br>（n＝375） | 71.5            | 69.9 | 64.8  | 60.0      | 50.9      | 44.3 | 47.2           | 35.2              | 35.2                   | 36.5                                 | 37.3   | 28.3              | 15.7     | 7.5      |
| 文理別                            | 文系<br>（n＝458） | 71.2            | 65.3 | 61.8  | 56.3      | 53.9      | 48.7 | 48.7           | 41.3              | 40.4                   | 37.8                                 | 36.9   | 27.3              | 20.5     | 10.9     |
|                                | 理系<br>（n＝186） | 65.6            | 62.4 | 57.5  | 55.9      | 42.5      | 43.5 | 40.9           | 34.4              | 30.1                   | 33.3                                 | 30.1   | 27.4              | 16.1     | 14.0     |

さらに、「13 企業から受けた内定者フォロー」の結果と比較した。学生が実際に企業から受けた内定者フォローは、「内定者や社員との懇親会」のみが6割を超え、他は2～3割程度もしくはそれ以下に留まっている。しかし、実際に行なわれていなくても学生が好意的に捉えている内定者フォローは多くある。企業が多様な内定者フォローを行なうことで、学生の内定辞退の防止や入社意欲の向上などが期待できそうだ（図15.2）。

【図15.2】行なってくれると嬉しい内定者フォロー：企業から受けた内定者フォローとの比較



# 入社前に受けた研修

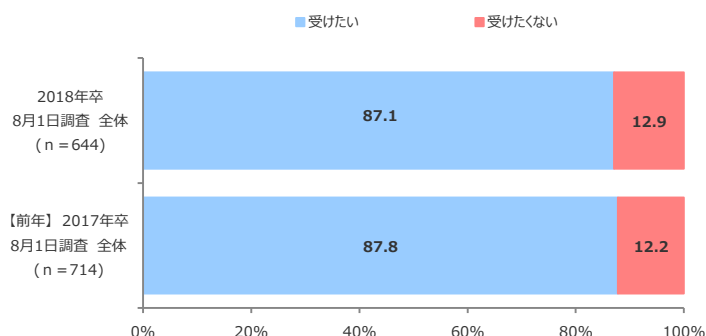
学生に、入社前の研修について聞いた。入社前に、入社予定企業の研修を受けたいか聞くと「受けたい」と回答した学生が87.1%に上った（図16.1）。

また、「受けたい」と回答した学生に、具体的に受けたい研修の内容を聞くと、1位は「ビジネスマナーについて」で、65.8%となった。次いで、「配属先で必要となる知識や技能について」60.8%、「ビジネススキル（論理的思考、コミュニケーション方法など）」について56.0%、「業務に必要な資格の取得対策」49.7%となった。

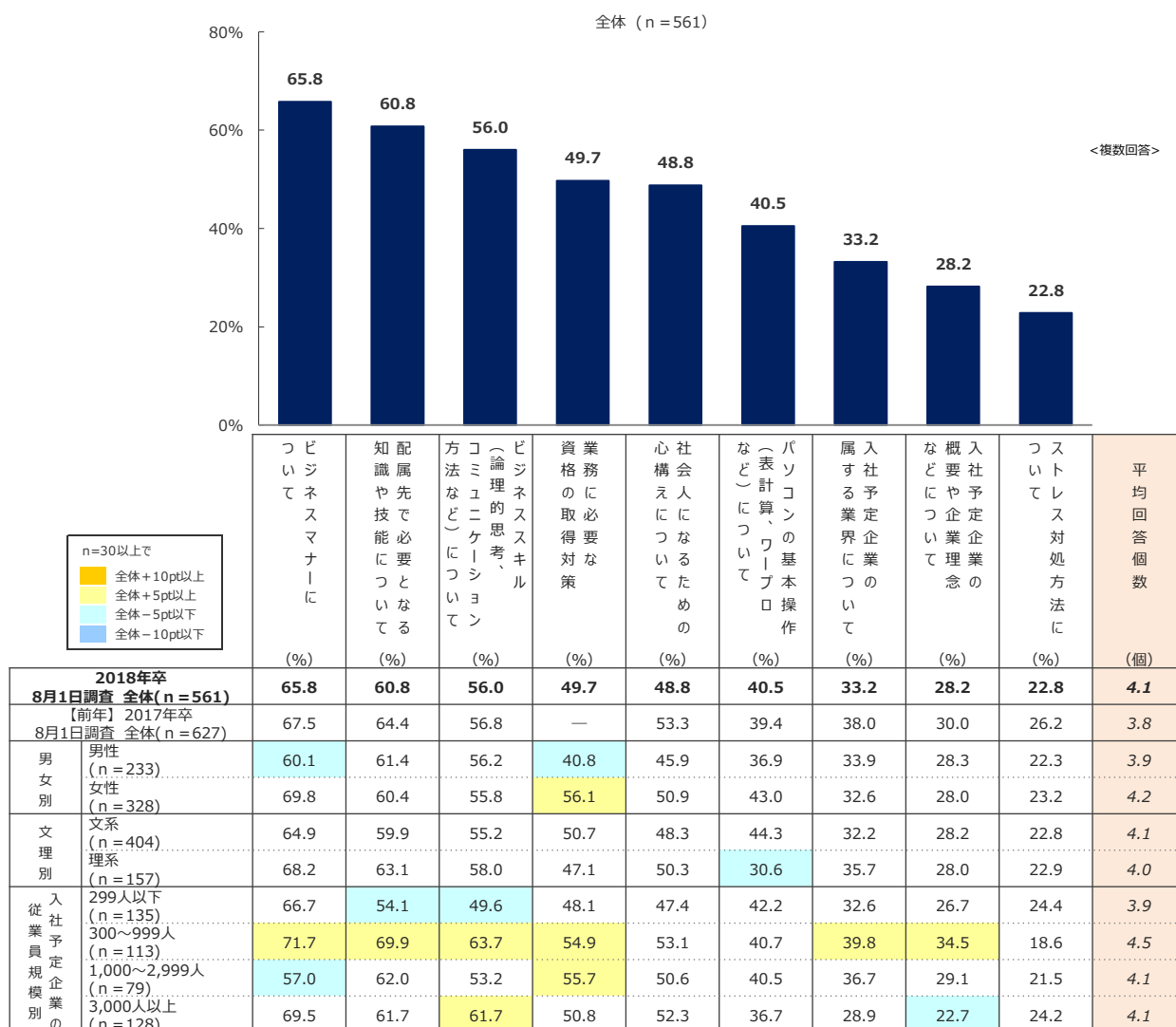
属性別に見ると、文理別では、「パソコンの基本操作（表計算、ワープロなど）」について」の研修において、文系が理系を13.7ポイント上回っており、理系よりも苦手意識があることがうかがえる。

入社予定企業の従業員規模別に見ると、「300～999人」の企業に入社予定の学生は、他の学生よりも平均回答個数が多く、より多くの研修を受けたと感じているようだ（図16.2）。

【図16.1】入社前に研修を受けたいか：前年調査との比較



【図16.2】入社前に受けたい研修：属性別

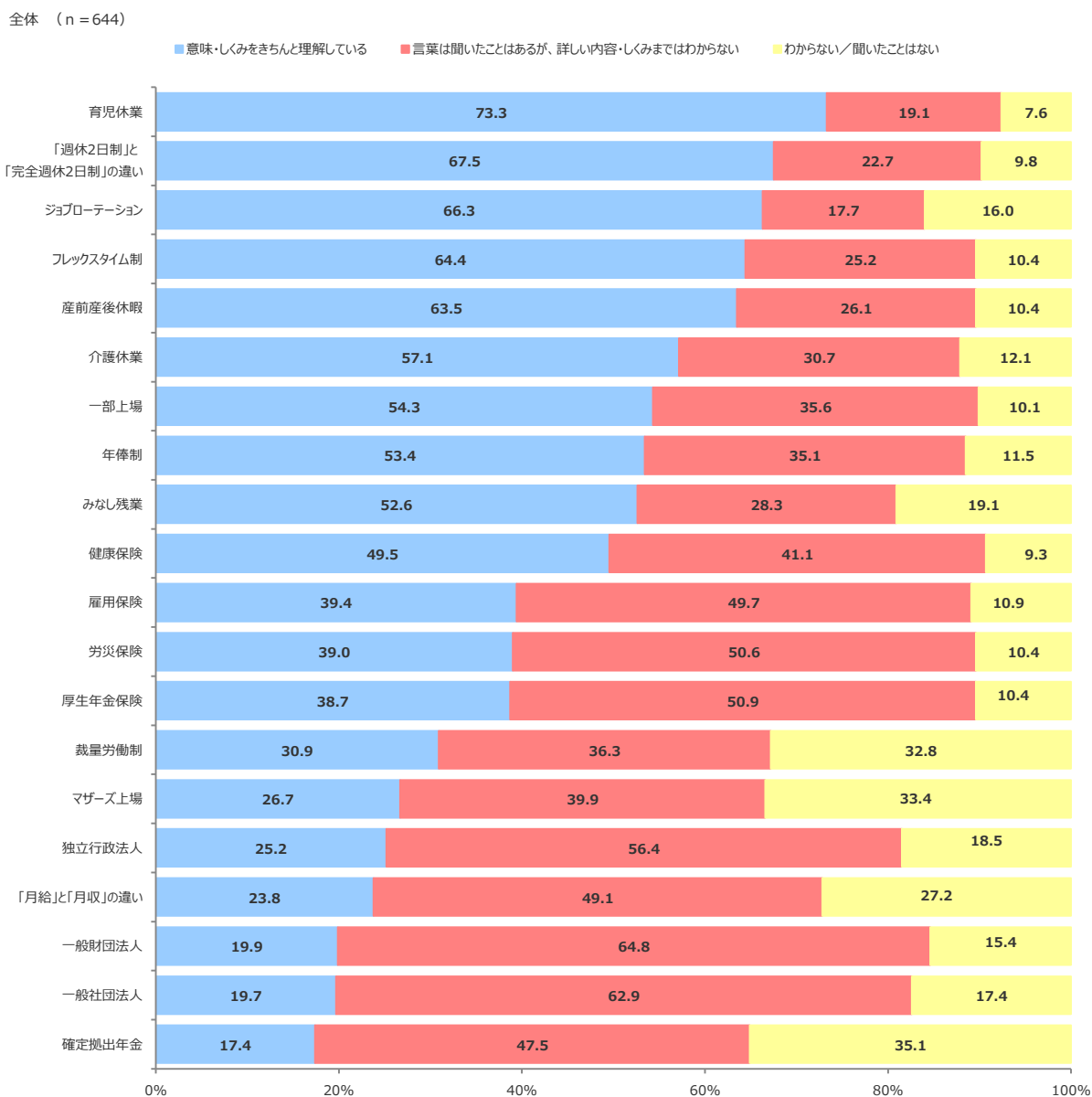


# 労働関連ワードの理解

学生に、以下に挙げた20の労働関連ワードについて、認知・理解度を聞いた。「意味・しくみをきちんと理解している」と学生の理解度が高いのは、上位から「育児休業」73.3%、「『週休2日制』と『完全週休2日制』の違い」67.5%、「ジョブローテーション」66.3%、「フレックスタイム制」64.4%となった。また、昨今の働き方改革で時間外労働への注目も高まっているが、関連ワードである「みなし残業」について、きちんと理解している学生は52.6%に留まった。

また、「わからない／聞いたことはない」という回答が多かったのは、1位「確定拠出年金」、2位「マザーズ上場」、3位「裁量労働制」だった（図17）。

【図17】労働関連ワードの理解





20の労働関連ワードについて「意味・しくみをきちんと理解している」と回答した学生の割合を属性別に見た。

男女別では、女性は「育児休業」「産前産後休暇」「介護休業」について、男性よりも回答割合が高くなっており、制度の当事者となる可能性も高いことから関心を高く持っているようだ。一方、男性は、「一部上場」「年俸制」「みなし残業」「裁量労働制」「マザーズ上場」など、労働時間に関する制度や企業規模・資本を表すワードについて、女性よりも理解している割合が高くなっていった。

企業規模に対する志向別に見ると、「大企業志向」の学生は、他の学生に比べて各ワードに対する理解度が高い傾向があった。

内定獲得状況別に見ると、「内定なし」の学生は、「内定あり」の学生に比べて、全てのワードにおいて理解度が低く、情報収集量に差があるようだ（表17）。

【表17】労働関連ワードを理解している割合：属性別

|              |                           | <複数回答> |                      |            |           |        |      |      |      |       |      |      |      |        |       |        |        |              |        |        |        |
|--------------|---------------------------|--------|----------------------|------------|-----------|--------|------|------|------|-------|------|------|------|--------|-------|--------|--------|--------------|--------|--------|--------|
|              |                           | 育児休業   | 「週休2日制」と「完全週休2日制」の違い | ジョブローテーション | フレックスタイム制 | 産前産後休暇 | 介護休業 | 一部上場 | 年俸制  | みなし残業 | 健康保険 | 雇用保険 | 労災保険 | 厚生年金保険 | 裁量労働制 | マザーズ上場 | 独立行政法人 | 「月給」と「月収」の違い | 一般財団法人 | 一般社団法人 | 確定拠出年金 |
|              |                           | (%)    | (%)                  | (%)        | (%)       | (%)    | (%)  | (%)  | (%)  | (%)   | (%)  | (%)  | (%)  | (%)    | (%)   | (%)    | (%)    | (%)          | (%)    | (%)    |        |
| 全体 (n = 644) |                           | 73.3   | 67.5                 | 66.3       | 64.4      | 63.5   | 57.1 | 54.3 | 53.4 | 52.6  | 49.5 | 39.4 | 39.0 | 38.7   | 30.9  | 26.7   | 25.2   | 23.8         | 19.9   | 19.7   | 17.4   |
| 男女別          | 男性 (n = 269)              | 65.1   | 68.8                 | 65.1       | 66.9      | 53.9   | 49.4 | 63.6 | 59.1 | 59.1  | 52.8 | 42.8 | 42.4 | 43.9   | 39.8  | 36.4   | 31.6   | 32.7         | 25.7   | 24.5   | 22.3   |
|              | 女性 (n = 375)              | 79.2   | 66.7                 | 67.2       | 62.7      | 70.4   | 62.7 | 47.7 | 49.3 | 48.0  | 47.2 | 37.1 | 36.5 | 34.9   | 24.5  | 19.7   | 20.5   | 17.3         | 15.7   | 16.3   | 13.9   |
| 文理別          | 文系 (n = 458)              | 76.6   | 67.7                 | 69.0       | 66.8      | 66.2   | 59.8 | 56.8 | 54.1 | 55.5  | 52.0 | 40.8 | 41.0 | 39.5   | 29.3  | 28.2   | 25.8   | 24.7         | 21.0   | 19.4   | 19.0   |
|              | 理系 (n = 186)              | 65.1   | 67.2                 | 59.7       | 58.6      | 57.0   | 50.5 | 48.4 | 51.6 | 45.7  | 43.5 | 36.0 | 33.9 | 36.6   | 34.9  | 23.1   | 23.7   | 21.5         | 17.2   | 20.4   | 13.4   |
| 対する志向別       | 大企業志向 (n = 320)           | 78.1   | 68.4                 | 74.1       | 74.7      | 67.8   | 61.3 | 61.6 | 59.1 | 56.9  | 51.9 | 44.4 | 42.8 | 42.5   | 35.9  | 34.7   | 25.6   | 26.9         | 21.9   | 21.9   | 20.9   |
|              | 中小企業志向 (n = 182)          | 65.9   | 67.6                 | 57.1       | 53.3      | 61.5   | 52.7 | 46.7 | 44.5 | 47.8  | 46.2 | 31.9 | 35.2 | 33.5   | 23.6  | 15.4   | 19.2   | 18.7         | 15.4   | 16.5   | 11.5   |
|              | 企業の規模は全く意識していない (n = 142) | 71.8   | 65.5                 | 60.6       | 55.6      | 56.3   | 53.5 | 47.9 | 52.1 | 49.3  | 48.6 | 38.0 | 35.2 | 36.6   | 28.9  | 23.2   | 31.7   | 23.2         | 21.1   | 19.0   | 16.9   |
| 状況別          | 内定あり (n = 535)            | 75.9   | 71.0                 | 71.0       | 68.4      | 66.9   | 60.9 | 58.9 | 56.1 | 56.3  | 52.0 | 42.1 | 41.3 | 40.6   | 33.1  | 29.5   | 25.8   | 24.9         | 20.7   | 21.1   | 19.1   |
|              | 内定なし (n = 109)            | 60.6   | 50.5                 | 43.1       | 45.0      | 46.8   | 38.5 | 32.1 | 40.4 | 34.9  | 37.6 | 26.6 | 27.5 | 29.4   | 20.2  | 12.8   | 22.0   | 18.3         | 15.6   | 12.8   | 9.2    |
| 姿勢別          | 積極的 (n = 386)             | 76.7   | 69.7                 | 72.0       | 69.2      | 68.1   | 59.8 | 59.8 | 56.5 | 58.3  | 51.3 | 41.7 | 40.2 | 42.2   | 33.7  | 30.3   | 25.6   | 24.4         | 20.2   | 21.2   | 19.9   |
|              | 消極的 (n = 258)             | 68.2   | 64.3                 | 57.8       | 57.4      | 56.6   | 53.1 | 46.1 | 48.8 | 44.2  | 46.9 | 36.0 | 37.2 | 33.3   | 26.7  | 21.3   | 24.4   | 22.9         | 19.4   | 17.4   | 13.6   |

# 就職活動“解禁日”の必要性

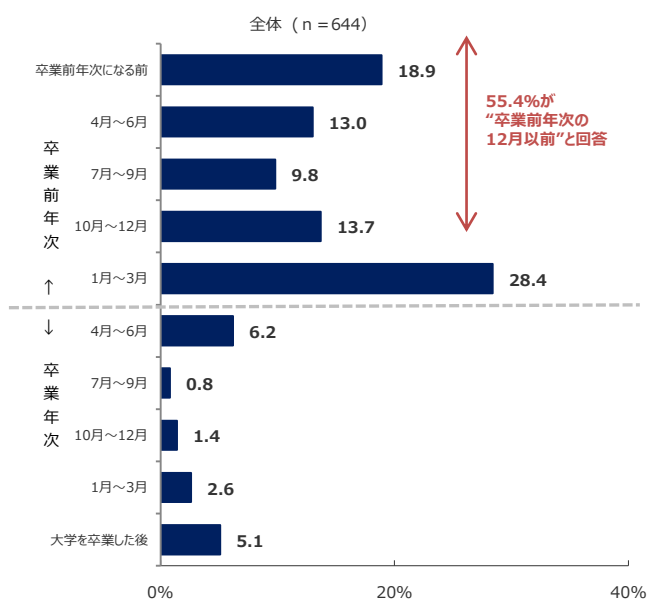
学生に、就職活動の開始時期（企業にエントリーをしたり、会社説明会に参加し始める時期）はいつ頃が適切だと思うか聞いた。最も回答を集めたのは、「卒業前年次の1月～3月」で28.4%だった。次いで、「卒業前年次になる前」18.9%、「卒業前年次の10月～12月」が13.7%となっており、55.1%の学生が、「卒業前年次の12月以前」が適切だと考えているようだ（図18.1）。

内定獲得状況別に見ると、「内定あり（3社以上）」の学生は、「卒業前年次の10月～12月」以前の時期を回答した割合が他の学生よりも高く、やや早めの開始時期を適切だと考えているようだ。一方、「内定なし」の学生では、「内定あり」学生よりも「卒業前年次になる前」と「卒業年次の7月以降」と回答した割合が高くなっていた（図18.2）。

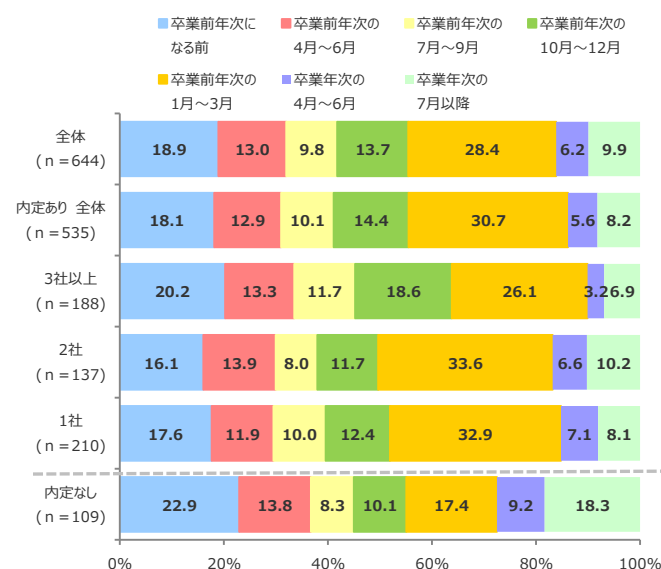
さらに、企業の新卒採用において広報活動や選考活動の解禁日は必要だと思うか聞いた。結果は、「必要だと思う」23.6%、「どちらかと言えば必要だと思う」22.0%、「どちらかと言えば必要だと思わない」21.7%となり、解禁日“必要派”（「必要だと思う」と「どちらかと言えば必要だと思う」の計、以下同）の学生が53.3%と半数を超えた（図18.3）。

適切だと思う就職活動開始時期との関係を見ると、解禁日“必要派”の割合は、適切な就職活動開始時期を「卒業前年次になる前」「卒業前年次の4月～6月」の比較的早期と、「卒業年次の1月～3月」の現状の解禁時期を適切と考えている学生で高くなっていた（図18.4）。

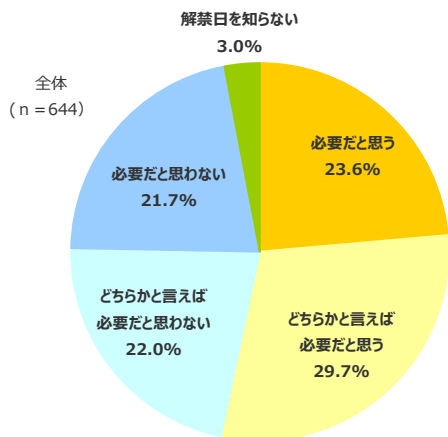
【図18.1】適切だと思う就職活動開始時期



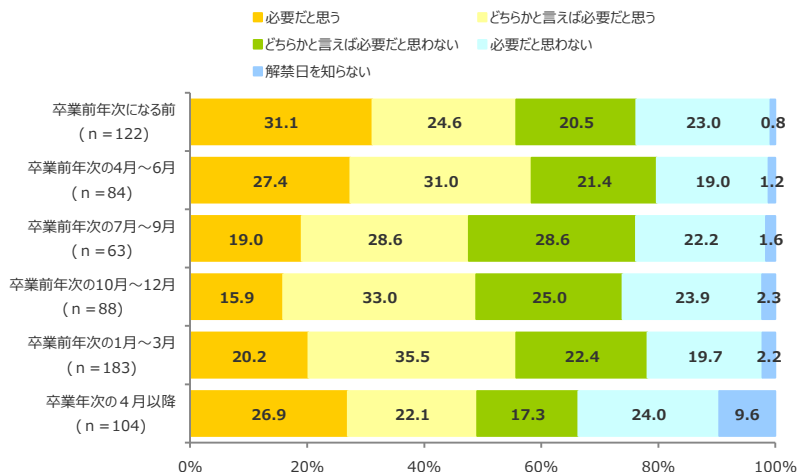
【図18.2】適切だと思う就職活動開始時期：内定獲得状況別



【図18.3】広報活動や選考活動の“解禁日”は必要だと思うか



【図18.4】広報活動や選考活動の“解禁日”は必要だと思うか：適切だと思う就職活動開始時期別



### 「必要だと思う」「どちらかと言えば必要だと思う」理由

- 解禁日を設けなかった場合、各企業が個別に採用活動を開始するために、学生は長期にわたって就職活動をする事になりそうだから。（男性・文系）
- 解禁日をなくせば、それこそあらゆる企業があらゆる時期に採用活動を行ない、就活の長期化、オワハラの横行が起こりそうだから。しかし、今の解禁時期では忙しい時期と重なってしまいしんどいため、時期を設けるならもっと早くして最終年次は研究に専念できるようにしてほしい。（女性・理系）
- 境界線があやふやになってしまっは、どんどん人材の先取りが行なわれ、学業よりも就職のための大学になりうるから。（女性・文系）
- 大体の目安となるから。設定されていても、解禁日前に選考を開始する企業があることを知らされていたので、大まかなスケジュールが立てやすかった。逆に解禁日がないと、いつから始めればいいのかわからなくなってしまうと思う。（女性・文系）
- それぞれの企業の都合でエントリーが始まると、情報収集が追いつかなくなり、行きたかった企業にエントリーできないと思ったから。（女性・文系）
- 解禁日が決められていることで、情報をしっかりと収集できた。解禁日などがないインターンシップでは、知らない間に応募が終わったこともあったので。（女性・文系）
- 大勢の人が同時にスタートするから、その前にどれだけ準備をするかで他の人との差を明確にできるようになるため。（男性・理系）
- スタートが同じでないと、後から始まる会社の選考を受けるときに、先に始まっている方の内定辞退をしないといけなくなるので、同じ時期に内定をもらっておきたい。（女性・理系）

### 「必要だと思わない」「どちらかと言えば必要だと思わない」理由

- 通年採用をした方が、学生の都合の良いタイミングで選考できるし、他企業とのブッキングが少なくなる。（女性・文系）
- 一斉解禁になることで、興味のある企業が複数あった場合に日程が被ることがあり、不満に思ったから。また、実際は解禁日以前に面談という形で学生に接触する企業も多く、選考フローが不透明で、意義を感じないため。（男性・文系）
- 解禁日を作ることで、全ての企業に対して同時期に情報収集やエントリーシート作成などの就職活動を行なわなければいけないため、負担が大きい。（女性・理系）
- 一斉にやると、周囲と自分との差が如実になり、自分のペースで就職活動ができなくなる。早く終えようと、意思決定を急いで、内定ブルーになる。また、内定を拒否したくても、ほとんどの企業が選考を終了しているという事態が起こり、企業も採用を終了しているので追加で応募できない。（女性・文系）
- 解禁日をなくした方が、積極的に活動を行ないたい人が有利になり、希望する業界に入りやすくなるのではないかと。（男性・理系）
- 経団連の定める解禁日は形骸化しているため、インターンシップの評価でそのまま採用する方が、学業にも支障をきたさなくて良いと考えたため。むしろ、新卒採用を廃止して終身雇用も廃止すれば、通年採用ができ、企業と学生双方にメリットがあると思う。（男性・文系）
- 解禁日前後で、急にイベントの予約が取りにくくなったり、不安を煽るような風潮になったりしたから。自分の就活は、解禁前も解禁後も特に変化はなかった。（女性・文系）